

# PROBLEM PARADISE

Issue 89

Vol.23

January-March 2020



Journal of Japanese Chess Problem Society

# Contents

Orthodox	……1
Endgame	……5
Helpmate	……9
Selfmate	……18
Fairy	……20
Retro	……34
Shogi	……39
Book Sale	……4, 49
Informal Tourney Award Helpmate 2018 (Judge: Nikola Stolev)	……42
第 16 回 International Solving Contest 参加レポート	……50
リレー・エッセイ 私のお気に入り (第 1 回)	
ピアノフィリアの夢…カブースチン他 (濱川礼)	……55
Definitions	……60
第 87 号解答成績	……64

各セクションごと、および全体で、1 題 5 点として成績を集計します。オーソドックスの #2 以外の作品については、主要変化と思われるものをすべて記入してください。短評大歓迎。各セクションごとに別紙を使用し、それぞれに氏名を記入すること。締め切りは **2020 年 4 月 30 日** 消印有効。宛先は Solution Editor の若島まで。また、作品の投稿は直接に担当者へ。

All solutions should be sent to the Solution Editor Tadashi Wakashima (Niina 7-8-13, Minoh-shi, Osaka 562-0005, Japan) before **April 30, 2020**. Please write down your solutions of each section in separate sheets. Solutions and comments by e-mail (tadashi@hcn.zaq.ne.jp) are most welcome. All originals should be submitted to the sub-editors. Their names and (e-mail) addresses are given on the back cover. Computer-tested problems are indicated by C+.

第 89 号をお届けします。

今号も原稿満載で、64 ページ建てにすることができました。特に、リレー・エッセイのページを始めることができたのは大きな喜びです。当方の依頼に応じて、こんな小冊子に掲載させていただくことが申し訳ないほどの力作をご執筆いただいた、濱川礼さんに感謝します。このページは可能なかぎり続けていきたいと思っていますので、ぜひ書きたいという方は、編集部までお申し出ください。



# Orthodox

## Orthodox Editor

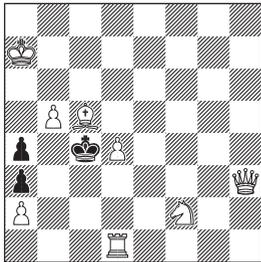
Yuji Kikuta (菊田裕司)

Judge 2020-2021

To be announced

## Issue 87 (D515-521)

D515 David Mealor  
C+ (UK)



#2 (8+3)

1.Qc8! waiting

1...Kxb5/Kc3/Kd5 2.Qa6/Bxa3/Qg8#

九尾：白Kの位置が大ヒント。

星野：Qh6に誘われるが、Kd5のためにはQは白マスに置いておく。

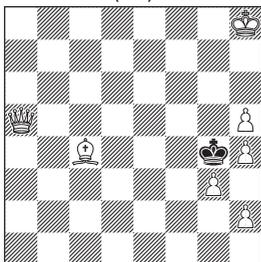
宮嶋：詰み形が見えやすい。

原岡：黒の2つのPは何なのでしょう

☆ a4Pがないと1.Qb3でいきなり詰んでしまいます。a3Pがないと1...a3で逃れます。

[○9△0×0-0]

D516 David Mealor  
C+ (UK)



#2 (7+1)

1.Qd2! waiting

1...Kf5/Kf3/Kxh5/Kh3

2.Qf4/Qe2/Qg5/Be6#

九尾：g2が空いているので、見つけやすかったです。

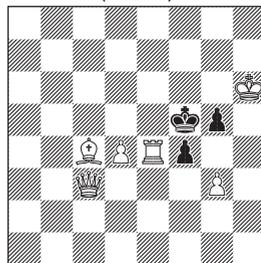
星野：Qd2がまさにピッタリで気持ちが良いが、かといって他に手もない。

宮嶋：形も手順もシンプル。

☆おなじみのスターフライトです。キーが平凡なのが残念です。

[○9△0×0-0]

D517 Victor Zhehtukhov  
C+ (Russia)



#2 (6+3)

1.Qa3! waiting

1...Kf6/Kg4/Kxe4/g4/f4

2.Qf8/Be6/Qd3/Rxf4/Q(x)f3#

九尾：Kf6を詰まそうとすると、初手はこれしかない？

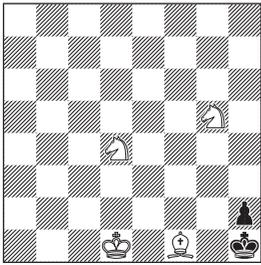
星野：D516と似ているが、こちらは遠ざかる。

宮嶋：ヘルプメイトっぽい手順。

☆1...Ke4で2.Qd3#と戻って詰ますがが少しおいしい味で、これがスイッチバックだともっといいのですが。

[○7△0×0-2]

**D518** Victor Zheltukhov  
C+ (Russia)



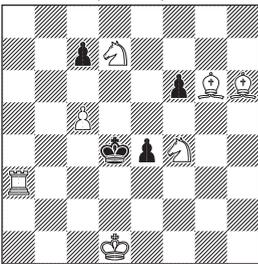
#3 (4+2)

- 1.Sf5! waiting  
1...Kg1 2.Sh3+ Kxf1/Kh1 3.Se3/Sg3#

九尾：S 2 枚の詰め形がなかなか見えず苦戦。手順を見ると易しそうなのに……。  
星野：f1Bを取られるのを怖がっていると解けない。

宮嶋：初手がすべて。  
☆なんということはない手順ですが、慣れてないと見えにくいですね。  
[○ 4 △ 0 × 0 - 5]

**D519** Petrasin Petrasinovic  
C+ (Serbia)



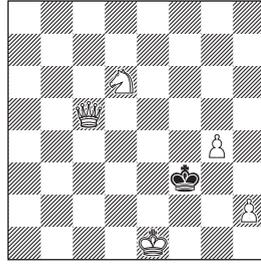
#3 (7+4)

- 1.Rb3! waiting  
1...Kc4 2.Bf7+ Kd4 3.Se2#  
1...e3 2.Rb4+ Kc3 3.Sd5#  
1...f5 2.Bg7+ Kc4 3.Bf7#  
1...c6 2.Se2+ Kd5/Kc4 3.Bf7#

九尾：b 列（という表現でよいのかどうか）に逃げられると困るのは分かっているのに、しばらく初手に気づきませんでした。

星野：色々駒を動かしているうちに、Kc3にはRがB筋に居ないといけないと分かる。  
☆キーはわかってしまえばこれしかないのですが、変化はきれいにできています。  
[○ 2 △ 0 × 0 - 7]

**D520** Petrasin Petrasinovic  
C+ (Serbia)

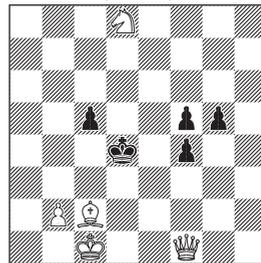


#3 (5+1)

- 1.Se4! waiting  
1...Kf4 2.Sf6 Kf3 3.Qf2#  
1...Kg2 2.Qf2+ Kh1/Kh3 3.Sg3/Qg3#  
1...Kxg4 2.Qg5+ Kf3/Kh3 3.Sd2Qg3#  
1...Kxe4 2.Ke2 Kf4 3.Qf5#

星野：Kf3の変化が良い。  
☆1...Kf4の変化でしょうか。これだけチェックをせずにじっと手待ちなのが見えにくいです。  
九尾：Kh1を詰ます形がひとつしかないと感じ、初手を絞ってクリア。  
☆つかまりにくそうですが、キーにそれらしい1.Se4!とすると急に狭まります。きれいにまとまっています。  
[○ 4 △ 1 × 0 - 4]

**D521** Petrasin Petrasinovic  
C+ (Serbia)



#4 (5+5)

1.Sb7 ! (2.Qd3+ Ke5 3.Qd6#)  
 1...Kd5 2.Qa6 (3.Qd6+ Kc4 4.Qxc5#)  
 2...Kd4 3.Qd3+ Ke5 4.Qd6#  
 1...Ke3 2.Qg1+ 2...Kf3/Ke2 3.Sxc5  
 (4.Bd1#)  
 1...Ke5 2.Qa6 (3.Qd6#)  
 2...Kd5 3.Qd6+ Kc4 4.Qxc5#  
 2...Kd4 3.Qd3+ Ke5 4.Qd6#  
 1...c4 2.Qf3  
 2...g4 3.Qa3 (4.Qc5#) 3..Kd5/Ke5  
 4.Qd6#  
 2...Ke5 3.Qc6 (4.Qd6#) 3...Kd4  
 4.Qc5#  
 2...c3 3.Qd3+ Ke5 4.Qd6#

☆ #4 と長く変化が多いためか解答者なしでした。

[ ○ 0 △ 0 × 0 - 9 ]

## Book Sale

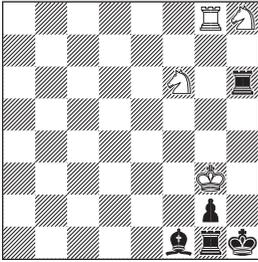
ご注文は郵便振替で JCPS まで。\*印は在庫数を表します。現品限りのものについては、お手数ですが、まず若島までメールにて在庫の有無をお問い合わせください。送料は、特に断り書きのないものについては、すべて当方負担です。

### (A) Books

A-1\*\*\* FIDE ALBUM 2001-2003  
 7000 円 新本  
 A-2\*\*\* FIDE ALBUM 2004-2006  
 6500 円 新本  
 A-3\* FIDE ALBUM 2014-1015  
 6000 円 新本 ← **New!**  
 A-4\* FIDE ALBUM 1998-2000 Annexe  
 4600 円 新本  
 A-5\* René J. Millour, Subtleties on 64 Squares  
 7000 円 新本  
 本誌でもおなじみ Millour さんの作品集。  
 特にフェアリーとレトロのファンは必見。  
 251 局。英語。

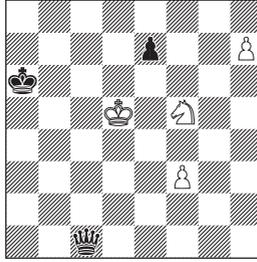
A-6\* Zdravko Maslar, Atelier 64  
 5200 円 新本  
 約 40 年も続いている Andernach meeting の主宰者として知られる、Maslar さんの作品集。ヘルプメイトを中心に 180 局。FEE=NIX シリーズ。ドイツ語。  
 A-7\* Milan Velimirovic, A Collection of Chess Problems by Touw Hian Bwee  
 3500 円 新本  
 インドネシアの作家 Touw Hian Bwee の作品集。収録作品数 178 局。英語。  
 A-8\*\*\* Peter Gvodjak, Cyclone  
 3700 円 新本  
 バターン・ブレイの cyclic テーマを網羅したもの。英語。  
 A-9\*\*\*\*\* Peter Gvodjak, Cyclone 2  
 5300 円 新本  
 A-11 の続篇。  
 A-10\*\* BELFORT 1994 37. CONGRES DE LA FIDE  
 1000 円 花沢蔵書  
 1994 年世界大会記念冊子。フランス語。  
 A-11\* Winfried E.Kuhn et.al., Das Hans-Klüver-Gedenktournier 1990-1993  
 500 円 花沢蔵書  
 H. Klüver 追悼冊子。ドイツ語。  
 A-12\* Günter Büsing & Hans Gruber, John Niemann -Eine Gedenkschrift-  
 500 円 花沢蔵書  
 J. Niemann 追悼冊子。ドイツ語。  
 A-13\* Wolfgang Dittmann, Der Flug der Schwalbe  
 1000 円 花沢蔵書  
 専門誌 Die Schwalbe の歴史。ドイツ語。

(Continued on p.49)

**E135**Peter Krug  
(Austria)

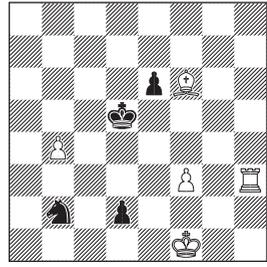
Win

(4+5)

**E136**Valery Kalashnikov  
(Russia)

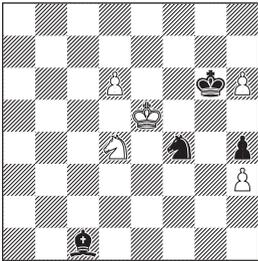
Win

(4+3)

**E137**Michal Hlinka  
Lubos Kekely  
(Slovakia)

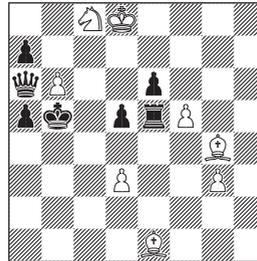
Draw

(5+4)

**E138**Pavel Arestov  
Daniel Keith  
(Russia, France)

Win

(5+4)

**E139**Andrzej Jasik  
(Poland)

Win

(8+7)

## Endgame

### Endgame Editor

Hiroshi Manabe (真鍋 浩)

### Judge 2020-2021

Mario G. Garcia (Argentina)

今号から年度が代わり、新たな Tourney がスタートします。例年通り、2020 年中の発表作が 15 作以上の場合、2020 年の作品のみで入賞を決定します。

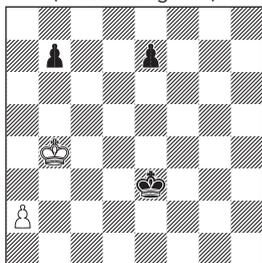
If the number of published studies in 2020 is no less than 15, the tournament will be closed and all prizes will be decided

within the single year.

今回の出題は 5 問。E135 は白の手は見えやすく、黒の必死の抵抗をかわしてください。E136 はシンプルな初形、白はナイトを活用して網を絞ります。E137 は黒ポーンのプロモーションに気をつけながら局面を絞ります。E138 もシンプルな初形、白は自然な手を続けて行けば、狙いが見えてきます。E139 は駒数が多いですが、導入部の手は限られています。

**Issue 87 (E114-120)**

**E114** David Blundell  
(United Kingdom)



Draw (2+3)

1.Kc5 e5 2.a4 Kd3 3.Kb6 Kc4 4.Kxb7 Kb4  
5.Kb6 Kxa4 6.Kc5 Draw

☆初手 1.Kc5 はこの一手。1.a4? は、1...Kd4 2.Kb5 e4 とされて負けになります。

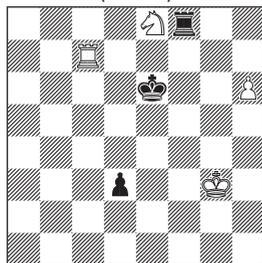
☆ 1...e5 2.a4 と進んで、2...e4 の変化は 3.a5 Kd3 4.Kb6 e3 5.Kxb7 e2 6.a6 e1=Q 7.a7 でドローです。

☆ 作意の 2...Kd3 には 3.Kb6 Kc4 4.Kxb7 Kb4 5.Kb6 Kxa4 6.Kc5 となってドローです。中嶋：初めて endgame 解答します。解けているか不安です。

☆初解答ありがとうございます。見事正解でした。

[○1△1×0]

**E115** Valery Kalashnikov  
(Russia)



Win (4+3)

1.Sg7+ Ke5 2.Re7+ Kf6 3.Rd7 Rh8 4.Kf4  
Rxh6 5.Se8+ Kg6 6.Rg7+ Kh5 7.Rg5+  
Kh4 8.Rg1 Kh3 9.Rh1+ Kg2 10.Rxh6 d2  
11.Rd6 Win

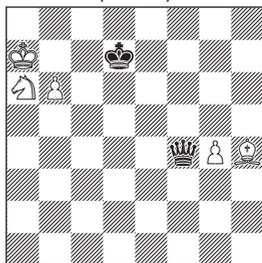
☆ 初手 1.Sg7+ に 1...Kf6 は 2.Rd7 Kg6 3.Rd6+ Kh7 4.Kg4 Rf2 5.Sf5 で白勝ちです。☆作意の 1...Ke5 には 2.Re7+ とチェックし、逃げ方を決めさせます。2...Kd5 には 3.Rd7+ Ke4 4.Kg4 で白勝ちなので、黒は 2...Kf6 と狭い方に逃げますが、3.Rd7 が 4.Kf4 ~ 5.Rd6+ を見せた好手です。

☆黒は 3...Rh8 4.Kf4 Rxh6 とポーンを外すことに成功しますが、5.Se8+ Kg6 6.Rg7+ Kh5 と進み、ポーンの代償に白はメイト筋を得ます。

☆以下、7.Rg5+ Kh4 8.Rg1 で黒はルークが助かりません。最後は易しい手順です。

[○0△1×1]

**E116** Valery Kalashnikov  
(Russia)



Win (5+2)

1.b7 Qd4+ 2.Ka8 Qxg4 3.Bf2! Qc4 4.Ba7!  
Ke7 5.Bc5+ Kf6 6.Ka7 Qf7 7.Bd6 Qd7  
8.Sc5 Qxd6 9.Se4+ Win

☆ 1.Sc5+? Kc6 はドローなので、1.b7 Qd4+ (1...Qe3+ 2.Ka8 Qf3 3.Bf2 4.Bc5) 2.Ka8 Qxg4 3.Bf2! と進みます。

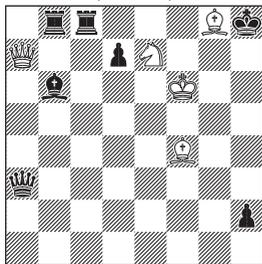
☆ 3...Qf3 4.Bb6! と 3...Qa4 4.Ka7! はいずれも白勝ちなので、黒は 3...Qc4 が最善です。

☆ここで 4.Sc5+? Kc6 5.b8=Q Qa2+ 6.Qa7 Qg8+ 7.Qb8 Qa2+ はパーペチュアル。焦らず 4.Ba7! が好手で、4...Qxa6 5.b8=S+ と 4...Qc6 5.Sb8+ はいずれもフォークで白勝ち。

☆作意の 4...Ke7 には 5.Bc5+ Kf6 6.Ka7 Qf7 7.Bd6 Qd7 8.Sc5 Qxd6 9.Se4+ とここでフォークが掛かって白勝ちになります。

[○0△0×2]

**E117** Peter Krug  
(Austria)



Win (5+7)

1.Be5 Rxg8 2.Sg6+ Rxg6+ 3.Kxg6+ Kg8  
4.Qxd7 Rb7 5.Qd5+ Kf8 6.Bc7! Win

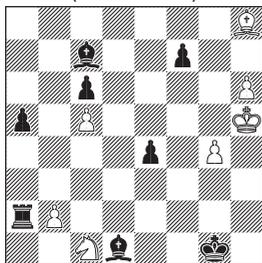
☆駒がぶつかっていて忙しい初形ですが、Qには目もくれず 1.Be5 とメイトを目指すのが好手。

☆黒は 1...Rxg8 と取るしかなく、2.Sg6+ Rxg6+ 3.Kxg6+ Kg8 4.Qxd7 まで是一直線です。

☆ここで 4...Rb7 がハツとする好手。5.Qxb7? Qd3+ は逆転ですが、Rを取らずに 5.Qd5+ Kf8 としてから 6.Bc7! が焦点の捨て駒で白勝ちとなります。

[○0△0×2]

**E118** Jan Timman  
(Netherlands)



Win (7+8)

1.Bd4+! e3! 2.h7! Be5! 3.Bxe5! Ra4 4.b4!  
Rxb4 5.Bf4!! e2! 6.Sxe2+ Bxe2 7.Be3+!  
Kg2 8.h8=Q Rxc4 9.Qb2! Win

☆ 1.Sxa2? と R を取るのは、1...Bc2 2.Bd4+ e3 と h7 を守られるとドローです。

☆ h ポーンのプロモーションを目指して、1.Bd4+! が正解。1... Kg2 には 2.h7 Bf4 3.h8=Q Bxc1 4.Qe5! Bf3 5.Kh4 Kf1 6.Qh2 e3 7.Kg3 で白勝ちです。

☆黒は 1...e3! とピシヨップの筋を通しますが、2.Sxa2? Bc2 3.Bxe3+ Kg2 は黒の思う壺。2.h7! と初志貫徹する手に対し、黒は 2...Be5! 3.Bxe5! (3.Bxe3+? Kg2=) Ra4 とするのが最強の応手です。

☆うっかり 4.h8=Q? とするのは 4...Rxc4 とされて Q の行き場がなく、5.Kh6 (5.Bg7 Rg2+) 5...Rh4+ 6.Kg5 Rxc4 7.Bxc4 Kf1 でドローです。

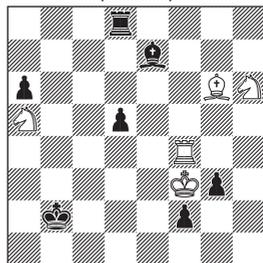
☆ 4.b4! Rxb4 5.Bf4!! (5.Bd4? Rb8 6.Bxe3+ Kg2 7.Bd4 f5=) と絶妙の応酬が続きますが、ここで素直に 5... Rxf4 と取ってくれば、以下 6.h8=Q Rxc4 に 7.Qa1! とできるのが 4 手目と 5 手目の連続捨駒の効果。以下、Ra4+ (7... Kh2 8.Qe5+ Kg2 9.Kh6 Rh4+ 10.Kg7) 8.Se2+ Kf2 9.Qxd1 は白勝ちです。

☆作意の 5...e2! 6.Sxe2+ Bxe2 の局面が最後の考え所。7.h8=Q? Rxf4 8.Qe5 Rf2! と 7.Kg5? f6+! 8.Kxf6 Rxf4+ はいずれもドロー。正解は 7.Be3+! Kg2 を入れてからの 8.h8=Q で 8...Rxc4 に対して 9.Qb2! とここに引くのが好手で勝ちになります。

☆ GMらしい深い読みで裏打ちされた妙手の応酬でした。

[○0△0×2]

**E119** Andrzej Jasik  
(Poland)



Win (5+7)

1.Kg2! Bg5 2.Rb4+ Ka3 3.Rb3+ Ka4 4.Sf7 Rg8!  
5.Bc2! Kxa5 6.Sd6! f1=Q+! 7.Kxf1 g2+!  
8.Kg1! Rg7 9.Sb7+ Ka4 10.Sd8! Re7

11.Rg3+ Kb5 12.Rxg5 Win

☆ 1.Bd3? Kc3 2.Bf1 Bg5 3.Sf7 Bxf4 4.Sxd8 Bc7 はドローなので、初手は 1.Kg2! が正解です。

☆ 1...Bd6 2.Rf6 Bc7 3.Sc6 Rc8 4.Se7 Bd8 5.Rxf2+ gxf2 6.Sxc8 a5 7.Be8 Kb3 8.Sf7 Bc7 9.Bc6 a4 10.Bxd5+ Kb2 11.Sfd6 および 1...Rd6 2.Sf5 Rf6 3.Bh5 Bd8 4.Sb7 Bb6 5.Bd1 Kc1 6.Bb3 d4 7.Rf3 の変化はいずれも白勝ち。黒は 1...Bg5 とし、2.Rb4+ Ka3 (2...Kc3 3.Rb3+ Kd2 4.Sf7) 3.Rb3+ Ka4 4.Sf7 と進みます。

☆ 4...Re8 と逃げるのは 5.Sd6 Re7 6.Be8+ Kxa5 7.Sb7+ Rxb7 8.Rxb7 で白勝ちなので、4...Rg8! と逃げますが、5.Bc2! Kxa5 6.Sd6! の局面が、次の 7.Sb7+ Ka4 8.R ~ + のチェックを見せたツークツワンク。

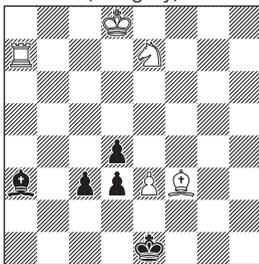
☆ 黒 は 6...f1=Q+ 7.Kxf1 g2+! 8.Kg1! (8.Kxg2? Bf4+ 9.Kf3 Bxd6) が最善の粘りですが、9.Sb7+ Ka4 10.Sd8! がうまい手。

☆ 10... Rc7 11.Rc3+ Kb5 12.Rxc7 および 10... Ka5 11.Sc6+ はいずれも白勝ちなので、10...Re7 としますが、11.Rg3+ Kb5 12.Rxg5 と取り切って勝ちになります。

☆ ジャッジの Garcia 氏から余詰の指摘がありました。10.Kxg2 d4 11.Sc5+ Ka5 12.Kf3 d3 13.Bxd3 Be7 14.Sxa6 で白勝ち。

[ ○ 0 △ 0 × 2 ]

### E120 Janos Mikitovics (Hungary)



Win (5+5)

1.Sc6!! Kf2 2.Se5! Bd6! 3.Sxd3+! Kxe3 4.Se1! d3 5.Bd1!! Kd2 6.Sxd3! Kxd1 7.Rd7!! Ba3! 8.Sf4+! Ke1 9.Ra7! Bc1

10.Sd3+ Kd1! 11.Kd7!! Bd2 12.Ra1+ Kc2 13.Sb4+! Kb2 14.Rd1! Be3 15.Rh1! Bd2 16.Sd3+! Kc2 17.Rh3! Kd1 18.Sc5!! c2 19.Rh1+ Ke2 20.Sb3 Be3 21.Kc6!! Kd3 22.Kb5!! Kc3 23.Ka4 Kb2 24.Rh2 Kb1 25.Kb4! Bf4 26.Rf2! Bd6+ 27.Kc3 Be5+ 28.Kd2 Kb2 29.Sc1 Bc3+ 30.Kd3 Win

☆駒数は多くないのですが、大量の読みを求められる難解作です。

☆ 1.Sg6? Bd6!, 1.Sd5? c2!, 1.exd4? c2! は以下手は続きますが、いずれもドローです。正解は 1.Sc6!! とこちらに跳ねる手です。

☆ 1...Kf2 に対して 2.Se5! (2.Sxd4? c2=) と B を守り、2...Bd6! 3.Sxd3+ Kxe3 (3...Kxf3 4.exd4) 4.Se1! d3 の局面で、わざわざ両取りを与える 5.Bd1!! が好手です。

☆ 5...Kd2 に対して 6.Sxd3! Kxd1 7.Rd7!! と進めて、これでデータベース上、白勝ちの局面です。

☆ 7...Ba3 に は 8.Sf4+ Ke1 9.Ra7 Bc1 10.Sd3+ Kd1 と進めて、ここで 11.Kd7 と K を一歩近づけます。以下、まだまだ手は続きますが、ゆっくりと網を絞って白の勝ちとなります。

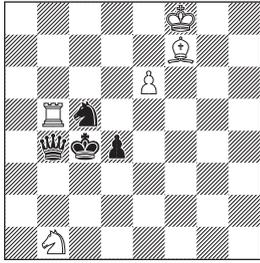
☆紙面の制約上、大量の変化の解説は省略させていただきます。

☆本局もジャッジの Garcia 氏から余詰の指摘がありました。1.exd4! c2 (1...d2 2.Rc7!) 2.Rxa3 d2 3.Rd3 c1=Q 4.Sc6 で以下白勝ちです。

[ ○ 0 △ 0 × 2 ]

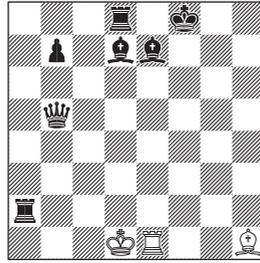
今号はお2人から解答を頂きました。ありがとうございます。

**H1138** Fadil Abdurahmanovic  
C+ (Bosnia Hercegovina)



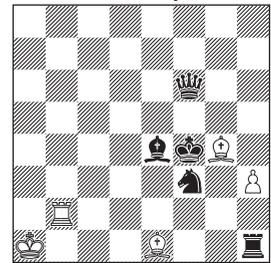
H#2\* (5+4)

**H1139** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



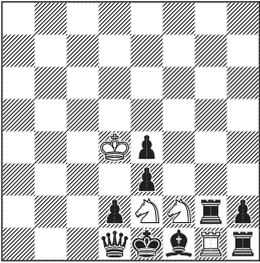
H#2 (3+7)  
b) bKf8→a8

**H1140** Rainer Kuhn  
C+ (Germany)



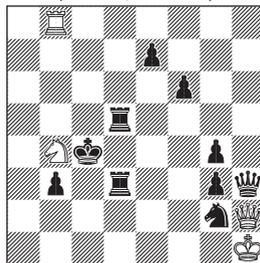
H#2 2sols (5+5)

**H1141** Fadil Abdurahmanovic  
C+ (Bosnia Hercegovina)



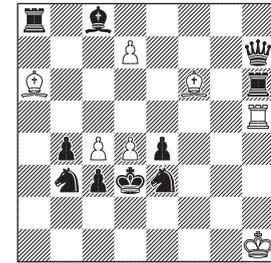
H#2 3sols (4+9)

**H1142** Aleksandr Pankratjev  
Evgeny Gavryliv  
C+ (Russia, Ukraine)



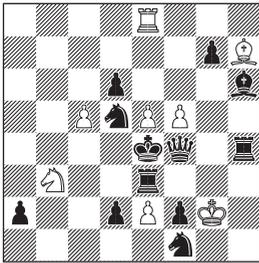
H#2 4sols (4+10)

**H1143** Rolf Wiehagen  
Christer Jonsson  
C+ (Germany, Sweden)



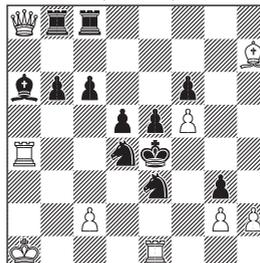
H#2 (7+10)  
b) bPc3⇔bKd3

**H1144** Abdelaziz Onkoud  
C+ (Morocco)



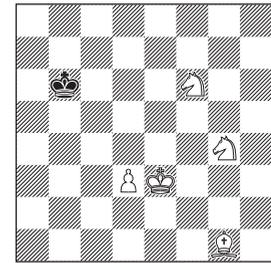
H#2 4sols (8+12)

**H1145** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



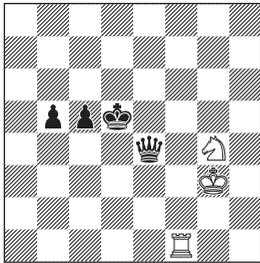
H#2 2sols (9+12)

**H1146** Oikawa Hironori  
C+ (及川弘典)



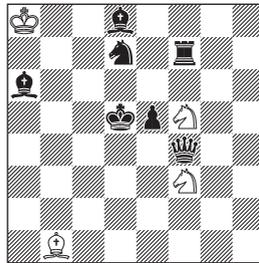
H#2.5 2sols (5+1)

**H1147** Achiya Ryyu  
C+ (阿知矢龍)



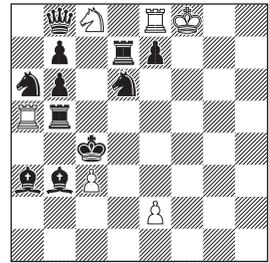
H#2.5 2sols (3+4)

**H1148** Jozef Lozek  
C+ (Slovakia)



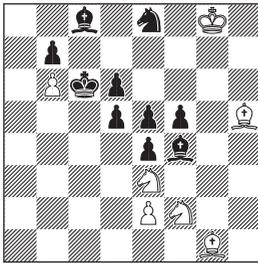
H#2.5 (4+7)  
b) wSf3→h6

**H1149** Fadil Abdurahmanovic  
C+ (Bosnia Hercegovina)



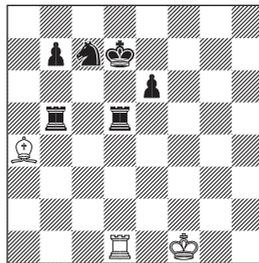
H#2.5 2sols (6+11)

**H1150** Rolf Wiehagen  
Christer Jonsson  
C+ (Germany, Sweden)



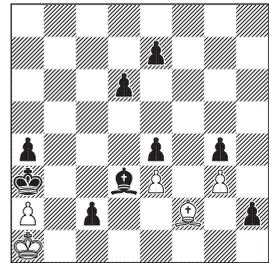
H#2.5 2sols (7+10)

**H1151** Alexander Pankratjev  
Michael Gershinsky  
C+ (Russia, Ukraine)



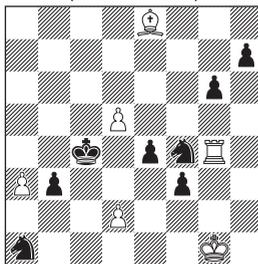
H#3 2sols (3+6)

**H1152** Mirko Degenkolbe  
Rolf Wiehagen  
C+ (Germany)



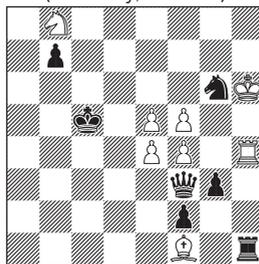
H#3 2sols (5+9)

**H1153** Christopher J.A. Jones  
C+ (Great Britain)



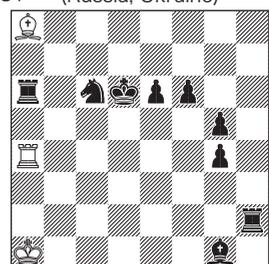
H#3 (6+8)  
b) bPb3→c3

**H1154** Rolf Wiehagen  
Christer Jonsson  
C+ (Germany, Sweden)



H#3 2sols (8+7)

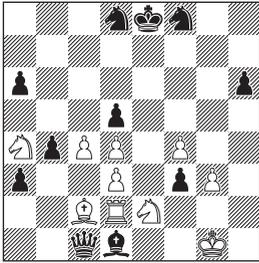
**H1155** Alexander Pankratjev  
Michael Gershinsky  
C+ (Russia, Ukraine)



H#3.5 2sols (3+9)

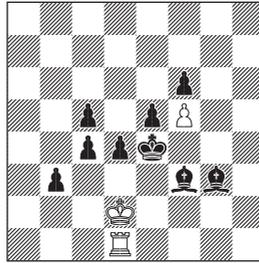
Ioannis Kalkavouras  
Kostas Prentos

**H1156** Abdelaziz Onkoud  
C+ (Morocco)



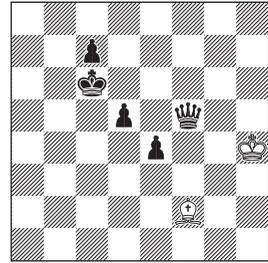
H#3.5 2sols (10+11)

**H1157** Theodoros Giakatis  
C+ (Greece, USA, Greece)



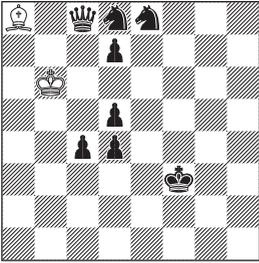
H#4.5 (3+9)

**H1158** Zlatko Mihajloski  
C+ (North Macedonia)



H#6 (2+5)

**H1159** Zlatko Mihajloski  
C+ (North Macedonia)



H#6.5 (2+8)

## Helpmate

### Helpmate Editor

Masato Yoshii [吉井雅人]

### Judge 2019

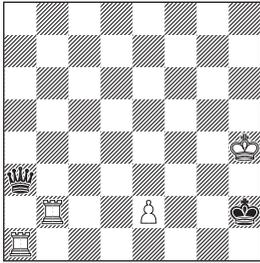
Zivko Janevski (North Macedonia)

今号は22問の出題です。2020のジャッジは Zivko Janevski さんにお引き受け頂きました。及川弘典さん、阿知矢龍さんから初投稿作を頂きました。皆さんあたたかいコメントをよろしく願います。

This issue has 22 compositions. I am very glad to announce Zivko Janevski takes on the judge of 2020! Warm welcome to new contributors, Rainer Kuhn from Germany whom I met in WCCC2014 at Bern, and Oikawa Hironori and Achiya Ryuu from Japan.

### Issue 87 (H1104-1123)

**H1104** Kankuh Kobayashi  
C+ (小林看空)



H#1 4sols (4+2)

- 1.Qa8 e4#
- 1.Qa7 e3#
- 1.Qf3 exf3#
- 1.Qd3 exd3#

及川：(私のような) 入門者向けの開き王手 4種。

九尾：Pの動きをスマートに表現。

則内：P着手の complete set は nice idea.

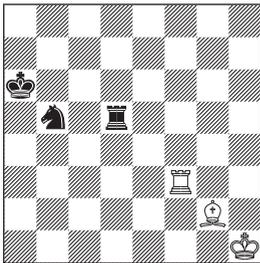
水野：アルビノの入門編ですね。

内田：最も簡潔なアルビノと思う。

○ H#1のアルビノ。テーマが鮮明でトップバッターにはもってこいの作品です。

MY：Economical H#1 Albino.

**H1105** Miloje Ilic  
C+ (Serbia)



H#2 2sols (3+3)

- 1.Sa7 Rb3 2.Ra5 Bb7#
- 1.Rd6 Rf4 2.Rb6 Ra4#

及川：詰上がりが見えやすかったです。

九尾：両王手も考えました。

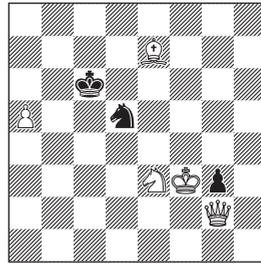
則内：A clockwise quarter turn is acceptable.

小林：ウォーミングアップにちょうどよい。

○セルフブロックからモデルメイト。シンプルで明快。

MY：Self block and model mate. A lovely work.

**H1106** Christer Jonsson  
C+ (Sweden)



H#2 2sols (5+3)

- 1.Sxe3 Qc2+ 2.Kd5 Qe4#
- 1.Sxe7 Qb2 2.Kc5 Qb6#

星野：bとcの筋が空いているのでここから攻めるが、白の利きが強すぎて困った。

及川：黒初手駒取りの2解。詰将棋感覚が染みついているため、初手駒取りに気持ち悪さを感じてしまう。

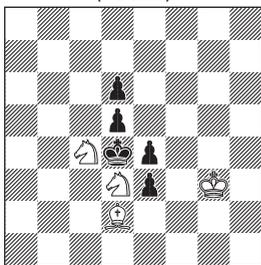
則内：B and S are equivalent in the case.

小林：Queenは強い！！

○ Zilahi ではないのですが、取らせるピースが異なります。

MY：Model mate and exchange functions.

**H1107** Stefan Milewski  
C+ (Poland)



H#2 (4+5)  
b) wKg3→f6

- a) 1.exd3 Bc3+ 2.Ke4 Sxd6#  
b) 1.dxc4 Bxe3+ 2.Kd5 Sb4#

九尾：テーマに気づけば簡単。

則内：It' s friendly for us to learn Zilahi.

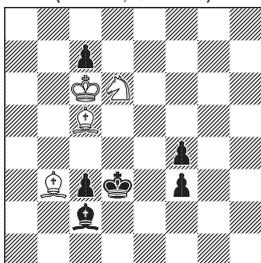
水野：Zilahi2 解が鮮やかですね。

小林：どの駒をとるか？駒を取ったコマの空き地に bK が動く。

○明快な Zilahi.

MY : A pleasant Zilahi.

Aleksandr Pankratjew  
**H1108** Evgeny Gavryliy  
C+ (Russia, Ukraine)



H#2 2sols (4+6)

- 1.Bxb3 Sf7 2.Kc4 Se5#  
1.cxd6 Kxd6 2.Ke4 Bxc2#

九尾：取りまくるほうが見えにくいですね。

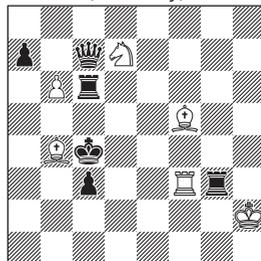
則内：wB&S flourish as same as H1107.

小林：こちら取られる駒が明確で助かった。

○役割変換と Zilahi.

MY : Exchange of functions and Zilahi.

Dieter Müller  
**H1109** Rolf Wiehagen  
C+ (Germany)



H#2 (6+6)  
b) wBf5⇔wRf3  
c) wBf5⇔wSd7

- a) 1.Rxb6 Bc5 2.Rb5 Be6#  
b) 1.Qxb6 Sc5 2.Qb5 Rf4#  
c) 1.axb6 Bd6 2.b5 Be6#

星野：できれば、白 Pb6 なしで作れたら良いのだが。

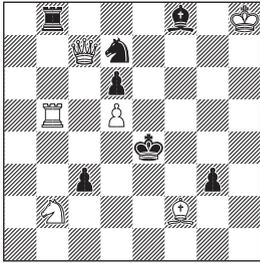
則内：It' s rare that blacks walk the same way.

小林：初手と2手目と黒の手が統一されていて気持ちがいい。

○ Dieter Müller さんの遺作。黒の初手と2手目が同じマス目での着手になります。

MY : The last work of Dieter Müller. This is a collaboration with Rolf Wiehagen. B1 & B2 plays on the same squares.

**H1110** Christer Jonsson  
C+ (Sweden)



H#2 6sols (6+7)

- 1. cxb2 Rxb2 2. Kd3 Qc2#
- 1. gxf2 Qxd6 2. Kd4 Qf4#
- 1. Se5 Sd3 2. Sf3 Qh7#
- 1. Sf6 Qh7+ 2. Ke5 Sd3#
- 1. Rxb5 Bxb3 2. Kxd5 Qc4#
- 1. Re8 Qxd7 2. Re5 Qg4#

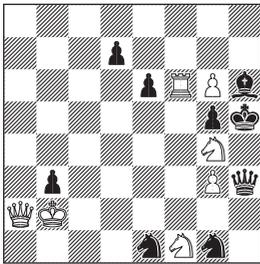
星野: Sd3 と Qh7 で 2 解稼げるのは面白い。  
駒井: 6 解もあると、だんだん見つけにくくなる。

則内: Various solutions on a large scale.  
小林: 百花繚乱といったところか。h8 の wK がさびしそう。

○明快なテーマはありませんが、様々な形でのメイト。

MY: Not clear theme, but various shapes of mates.

**H1111** Abdelaziz Onkoud  
C+ (Morocco)



H#2 2sols (7+9)

- 1.Qxf1 Qb1 2.Qxf6+ Sxf6#
- 1.Qxg4 Qa4 2.Qxg3 Sxg3#

水野: 黒 Q が一方の解には不要なピースを取り、S がその Q を取ってメイトになるんですね。Zilahi.

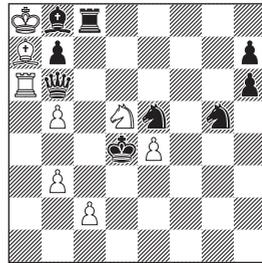
星野: どうせなら白 2 手目も駒取りにしたいが、中々うまく配置できない。

則内: Both Qs support to assemble Zilahi.

小林: wR でトドメを刺そうとして苦戦した。  
○盤面を広く使った良い作品だと思います。不思議な Zilahi と解のコントラストが良いです。

MY: A well constructed work with dynamic Q's moves, Zilahi and good harmony of solutions.

**H1112** Jozef Lozek  
C+ (Slovakia)



H#2 (8+9)

- b) bKd4→g6

- a) 1.Qc5 Re6 2.Sd3 c3#
- b) 1.Qd6 Bd4 2.Sef7 Sf4#

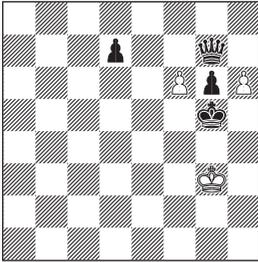
則内: Thoughtful Q for self-interference.  
星野: 主役は Q で利きを巧みに遮断される B と R。

小林: このごろ b) を先に解くことにしている。たいてい b) の方が易しいので ...。

○ Pelle move とピースの効きの通し方がおもしろいです。

MY : Pelle moves from interesting initial position.

**H1113** Lubos Kekely  
C+ (Slovakia)



H#2.5 3sols (3+4)

1...f7 2.Qxh6 f8=Q 3.Qh5 Qf4#  
1...h7 2.Qxf6 h8=Q 3.Qf5 Qh4#  
1...hgx7 2.Kh5 g8=Q 3.g5 Qh7#

星野 : Pd7 は何だと思ったら、ただの余詰め桂だった。。

九尾 : 4 解にはならなかったのですね。

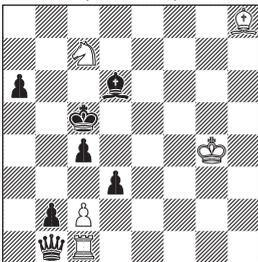
則内 : Simple trios make amateurs happy.

小林 : Pd7 の意味を真剣に考えて手こずる。

○簡素な初形から明快な 3 解。

MY : Three pawn moves from economical setting.

**H1114** Abdelaziz Onkoud  
C+ (Morocco)



H#2.5 4sols (5+7)

1...Rh1 2.Qxh1 c3 3.Qc6 Bd4#  
1...Bxb2 2.Qxb2 cxd3 3.Qb6 Rxc4#  
1...Re1 2.a5 Re5+ 3.Kd4 Sb5#  
1...Bd4+ 2.Kb4 Be3 3.Kc3 Sd5#

星野 : Qh1 が一番派手で良さそうだが、地味な Be3 も捨てがたい。

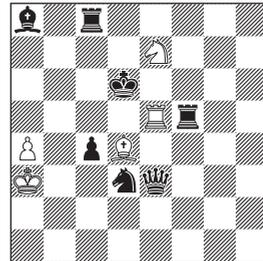
則内 : Dynamic moves are impressive.

小林 : 最初の 2 解はすぐにでてくるが、あとの 2 解がなかなか浮かばない。

○最初の 2 解が Zilahi になる HOTF。良い作品だと思います。

MY : HOTF including Zilahi. A well constructed work with good harmony of solutions.

**H1115** Pierre Tritten  
C+ (France)



H#2.5 2sols (5+7)

1...Ba7 2.Qb6 Re6+ 3.Kc5 Bxb6#  
1...Ra5 2.Rb5 Be5+ 3.Kc5 Rxb5#

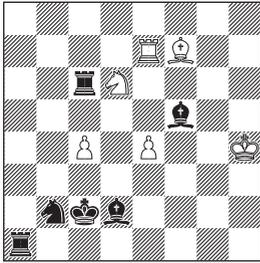
則内 : Black magnets become victims.

小林 : なぜか見慣れた水鉄砲。

○ Bristol と Magnet、最後に戻ってメイトにする Maslar が鮮やか。ODT の対比もあり良い作品だと思います。

MY : A brilliant work with Bristol and Manget and Maslar. Solutions have good harmony with ODT.

**H1116** Georg Pongrac  
C+ (Austria)



H#2.5 (6+6)  
b) bSb2→c1

- a) 1...Rc7 2.Rxc4 Sxc4 3.Kb1 Sxd2#  
b) 1...Bg6 2.Bxe4 Sxe4 3.Kd1 Sf2#

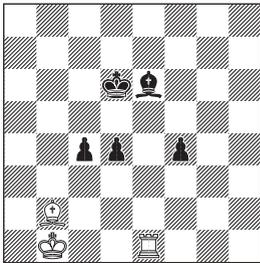
則内 : Eliminate clouds to use telescopes.

小林 : 連続駒取りはややはりムズかしい ...

○ R と B による Ambush ですが、コントラストが鮮明で面白い作品だと思います。

MY : Ambush of R and B. Solutions have good contrast.

**H1117** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



H#3 2sols (3+5)

- 1.Kc5 Kc2 2.Kb4 Bc3+ 3.Ka3 Ra1#  
1.Bd7 Re6+ 2.Kc5 Rd6 3.Bb5 Ba3#

星野 : Pf4 を何とか利用しようと、惑わしてくれる。

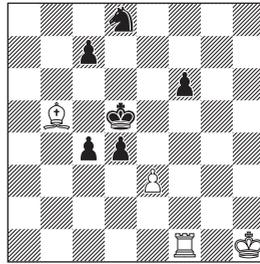
則内 : Basic mates feel rather fresh.

小林 : Pf4 に迷わされた。

○ 簡素な初形から K がふらふら動いてメイトになります。

MY : Interesting K moves from economical setting.

**H1118** Christopher J.A. Jones  
C+ (Great Britain)



H#3 2sols (4+6)

- 1.Sc6 exd4 2.Se7 Bc6+ 3.Kd6 Rxf6#  
1.Se6 Rxf6 2.Sf4 exf4 3.c5 Bc6#

星野 : 徐々に小さくまとまって行くので安心して詰められる。

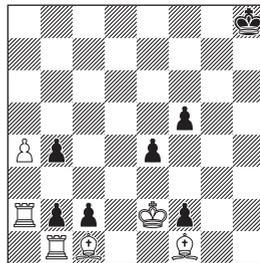
則内 : Rxf6# is harder to find than Bc6#

小林 : 1 解目 3 分、2 解目 3 日。bS が 2 回ハネて取られに来るとは ...

○ Jones さんの作品はどう駒を取るかというのを考えますが、この取り方は意外性があると思います。

MY : The author's specific unexpected piece captures are interesting.

**H1119** Christer Jonsson  
C+ (Sweden)



H#3 2sols (6+7)

1.bxc1=R Ra3 2.Rxf1 Rg3 3.Rh1 Rxh1#  
 1.cxb1=B Bh3 2.Bxa2 Bxf5 3.Bg8 Bxb2#

星野: Rを縦に使う手は、見付けにくかった。  
 則内: B/R total fashion is a good concept.

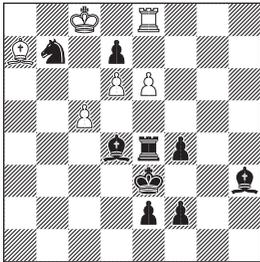
内田: この人なんでも実現してしまう。

小林: これはサービス問題。楽しく解けました。

○ひと目 Zilahi なのですが、R と B のメイトの対比が楽しい作品です。いかにも Jonsson さんの作品という感じ。

MY: A very enjoyable Zilahi. Solutions have pleasant harmony by our regular contributor.

Aleksandr Pankratjew  
**H1120** Evgeny Gavryliy  
 C+ (Russia, Ukraine)



H#3 (6+9)  
 b) bPf4→f3

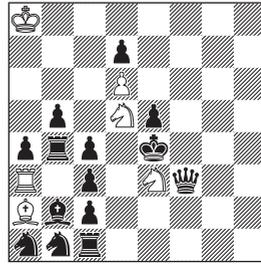
a) 1.Sxc5 Kb8 2.Sb3 Rc8 3.Sd2 Rc3#  
 b) 1.Bxe6 Bb6 2.Bc4 Bd8 3.Bd3 Bg5#

則内: Expected solutions are very pleasant.

○穴を塞いでどうやってピンメイトに持っていか。

MY: Self block and pin-mates. Both B/S have long trip.

**H1121** Abdelaziz Onkoud  
 C+ (Morocco)



H#3 2sols (6+14)

1.Qf5 Sxc4 2.Rxc4 Rxc3 3.Rd4 Re3#  
 1.Qf4 Sxc3+ 2.Bxc3 Bxc4 3.Bd4 Bd5#

星野: c3 と c4 の P を取るのは薄々分かるが、その後の駒の通し方は素晴らしい。

駒井: これが最後まで残った。地味な手順ほど難しい。

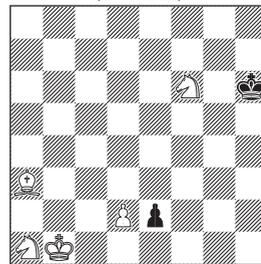
則内: It looks like magma in a volcano.

小林: どの駒でカベを掘るか ...。

○すさまじい初形ですが、手順はシンプルで解のコントラストも良いです。

MY: A heavy initial position but solutions is light and have good harmony.

**H1122** Kankuh Kobayashi  
 C+ (小林看空)



H#4 (5+2)

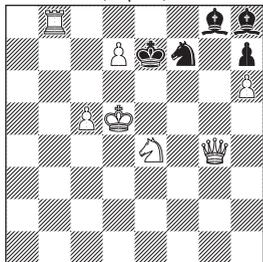
1.e1=Q+ Bc1 2.Qxd2 Sc2 3.Qg5 Se3  
 4.Qg6+ Sf5#

作者: Q に成る意外性と、二度にわたる王手と、すぐピンにされる Q、詰上がり両王手がねらいです。

(Continued on p.19)

**S251** Tired Boy

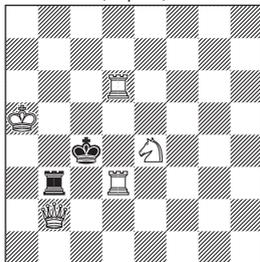
C+ (Japan)



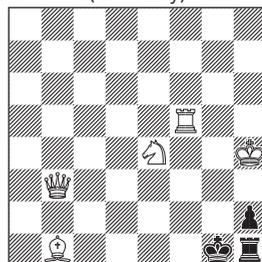
S#2 (7+5)

**S252** Tired Boy

C+ (Japan)

S#3 (5+2)  
b)Rd3→d2**S253** Stephan Dietrich

C+ (Germany)



S#7 (5+3)

## Selfmate

**Selfmate Editor**

Kohey Yamada (山田康平)

Judge 2018-2020

Diyen Kostadinov (Bulgaria)

☆ S251 は客寄せ。

☆ S252 も客寄せです。白 Rd3 を d2 に移した図を b) として解いてみてください。

☆ S253 は長手数ですのでヒント。最終形の黒 K の位置を推測し、その場所で役に立つような手が初手になります。

1...Bh5 2.Sxh5 axb5 #

1...Bg6 2.Sxg6 axb5 #

1...Be8 2.Qc5+ Sxc5 #

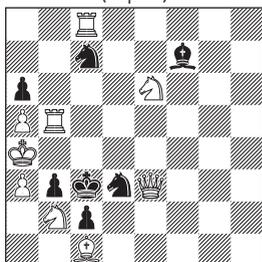
星野：取る、取られる、ピンされると八面六臂の R。

則 内：Qc5+ は Highlight。Capturing も good。

☆ 客寄せ。Se6 をどこに動かすかですが、黒 B の動きをカバーできる f4 の発見は容易いでしょう。

**Issue 87 (S244-246)****S244** Tired Boy

C+ (Japan)

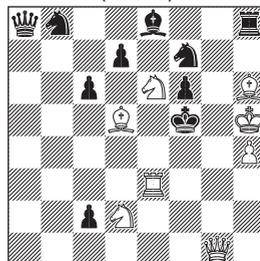


S#2 (9+7)

1.Sf4! (2.Rxb3+ Bxb3#)

**S245** Alexander Pankratjev

C+ (Russia)



S#3 (8+10)

1.Sc4!(2.Sd6+(A) Sxd6+ 3.Qg6+(B) Bxg6#)

1...Se5+ 2.Qg6+(B) Sxg6 3.Rf3+(C) Sf4#

1...Qa3 2.Rf3+(C) Qxf3+ 3.Qg4+(D) Qxg4#

1...Rg8 2.Qg4+(D) Rxg4 3.Sd6+(A)  
Sxd6#

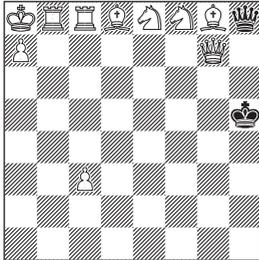
星野：Qg3に誘われるが、近寄り手が正解の筈がない。

則内：I love the well-ordered cyclic checks.

☆黒のバッテリーが目につきます。開き王手を未然に防ぐことはできないので、逆に王手されたときのことを考えます。Sg5+は即詰みで、Sd6+はQg6+でOK。Se5+がちょっと悩みますが、これを解決するためには1.Sc4!が必要、ということに至れば解に近づきます。

☆解けてみると見事なサイクリック。完璧な構成です。

S246 Daniele Gatti  
C+ (Italy)



S#13 (10+2)

1.Sf6+ Kh4 2.Rb4+ Kh3 3.Be6+ Kh2  
4.Rb2+ Kh1 5.Qb7+ Kg1  
6.Bb6+ Kf1 7.Bc4+ Ke1 8.Qe4+ Kd1  
9.Rb1+ Kd2 10.Qe2+ Kxc3  
11.Bd4+ Kxd4 12.Se6+ Kc3 13.Bb5+  
Qxc8#

☆「黒 Qh8 が白 Rc8 を取る」という最終形に向けて、黒 Q と白 R 間の BS を動かしつつ、黒の K を左に誘導します。正解者なしなのは残念。

## H コース

(Continued from p.17)

星野：逃げてゆくモグラの頭をギリギリ叩けた感じ。

駒井：そうか。両王手という手段があったのか。

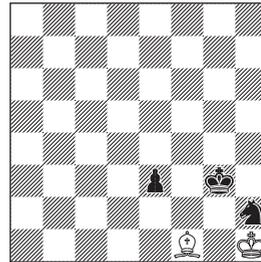
則内：Cross-counter の double-check が痛快。

内田：解後感の良い作品。

○あえて Q にプロモートして、王手をかけつつブロックできる位置まで引いていきます。最後は両王手で解後感良し。

MY：Unexpected Q promotion and cross checks are interesting.

H1123 Zlatko Mihajloski  
C+ (North Macedonia)



H#5.5 (2+3)

1...Kg1 2.e2 Bxe2 3.Sf3+ Kf1 4.Kh2 Kf2  
5.Kh1 Bf1 6.Sh2 Bg2#

星野：すんなり通過待ちが出来て、遅滞する所なし。

駒井：スイッチバックしてKの配置換え。

則内：Compact space wars entertain me.

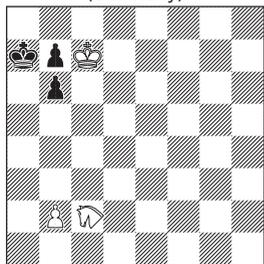
小林：詰め上がりにみめているのだが、e2...Bxe2のテンポ。

○狭い場所で駒を繰り替えてKを隅に持っていきます。BとKのKlasincになっています。

MY：An enjoyable puzzle in the narrow space with Klasinc of B and S.

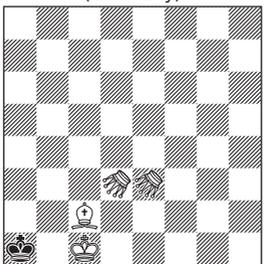
○次回も解答と短評をどうぞよろしくお願ひします。

**F1086** Stephan Dietrich  
C+ (Germany)



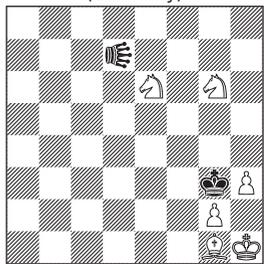
#7 (3+3)  
Dragon c2

**F1087** Stephan Dietrich  
C+ (Germany)



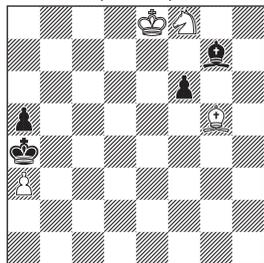
#7 (4+1)  
Double Grasshopper d3 e3

**F1088** Stephan Dietrich  
C+ (Germany)



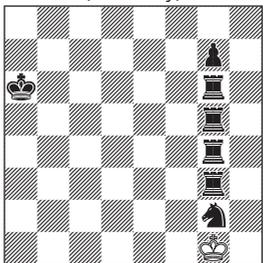
(\* S#4 2 Sols (6+2)  
Equihopper d7

**F1089** Pierre Tritten  
C+ (France)



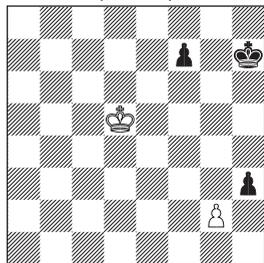
H#2 2 Sols (4+4)  
Take&Make

**F1090** Andreas Thoma  
C+ (Germany)



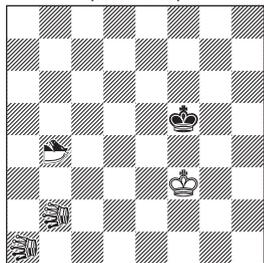
H#5 Zero Position (1+7)  
a) bPg2 b) a1=a8  
AntiCirce

**F1091** Sébastien Luce  
C+ (France)



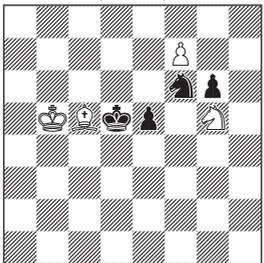
H#9.5 (2+3)  
Antipodean Circe  
BlackMustCheck

**F1092** Vlaicu Crisan  
Eric Huber  
C+ (Romania)



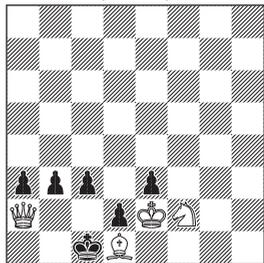
HS#3.5 (1+1+3)  
b)wKb5 c)nLa1→c4  
d)nROb4→f6  
Neutral Rose b4  
Neutral Locust a1 b2  
Parrain Circe Take&Make  
(Dedicated to Kjell Widlert)

**F1093** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



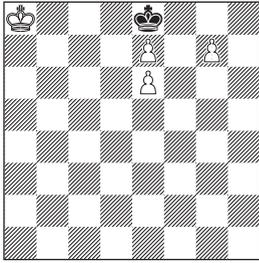
(\*)H=2 (4+4)

**F1094** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



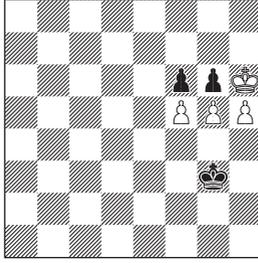
H=2 (4+6)  
b) -bPc3

**F1095** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



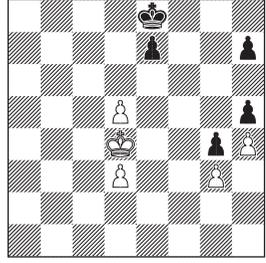
(\*) H=3 (4+1)

**F1096** Sébastien Luce  
C+ (France)



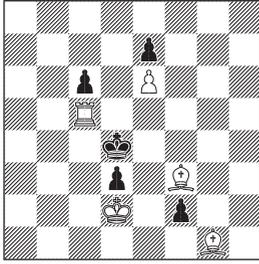
H=6.5 PWC (4+3)

**F1097** Sébastien Luce  
C+ (France)



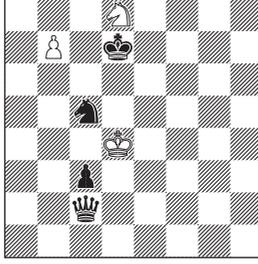
H=12 AntipodeanCirce BlackMustCheck (5+5)

**F1098** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



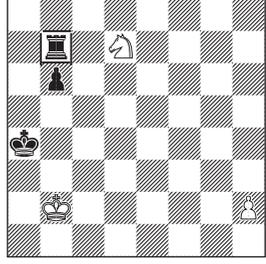
(\*) SH#6 (5+5)

**F1099** Slavko Radovanović  
C+ (Serbia)



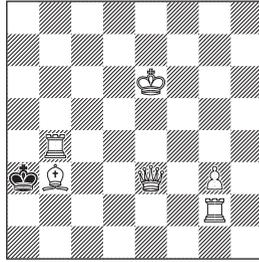
SH#8 (3+4)

**F1100** Chris Feather  
C+ (UK)



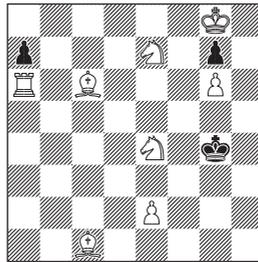
SH#15 Chameleon Rook b7 Equipollents Circe (3+3)

**F1101** Vladimir Jovičević  
C+ (Serbia)



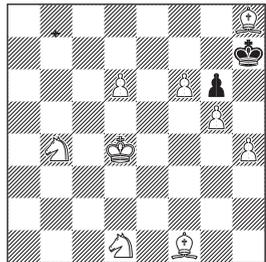
(\*) SH#28 (6+1)

**F1102** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



SH=22 (8+3)

**F1103** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



SH=25 Bicolores (9+2)

# Fairy

## Fairy Editor

**Vlaicu Crisan (Romania)**

## Judges 2020

**Geoff Foster (Australia)**

Thanks to composers for submitting their fairy originals! I still need your contributions in order to be able to keep the same pace in the next issues.

As usually, Stephan opens the show with three antagonistic compositions. Each of these problems is using a different fairy piece. In **F1086**, the Dragon is a combination of Knight and Pawn, without promotion rights. There will be only one Double Grasshopper move in **F1087**. Don't miss the set mate in 1 in **F1088**, which also appears in one solution.

Ready for the helpmates? Both White and Black capture in each solution of Pierre's **F1089**. Andreas initial setting in **F1090** is not for solving – that's what is a zero position called. The rebirth square of black King should be occupied, while the rebirth square of white King should not be threatened. The twin means the black King is shifted to f8. In **F1091**, the captured wPg2 would reborn on c6 according to Antipodean rules. White must mate, while Black must continuously give check – after discovering the double Excelsior, you have to guess what bPh3 is doing in order to find the solution.

**F1092** is dedicated to the judge of PP 2016 informal tournament, answering to his just criticism of **F757**. Slobodan provides one third of the originals: he sent us, except his always solver-friendly originals, two contributions from deceased composers. I am much indebted to Marjan Kovačević who indicated the excellent base of Serbian chess composers

maintained by Borislav Gadjanski (<http://srb.matplus.net/authors>), so I am able to provide some biographical details. Slavko Radovanović died in 2013 (age 64) at Trstenik, after making a spectacular debut in Yugoslav Amateurs Championships in 1996. Vladimir Jovičević – Jov was a humorist and an editor of "Serbian ha-ha-haiku" who died in 2011.

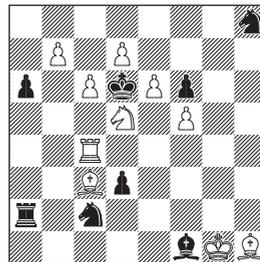
The longer helpstalemates are signed by our long-time contributor Sébastien. His miniature **F1096** is funny: no piece can actually disappear under PWC rules, so first try creating a double stalemate position with this material. In **F1097** you will see all the three special chess moves in the first 6 moves of the solution. In the last six, you must find a way to block the remaining free black pieces.

The serial problems are quite funny and attractive. Don't get put aside by the length of the stipulation! In **F1100**, the wSd7 will eventually reach on c6 via e7 and the bK won't move at all. In **F1103**, the Bicolores condition means the black King can't play on f5 as long as there is bPg6. You will surely enjoy a lot the final position once you find it!

Solvers, without your comments this fairy column would be pretty dry!

## Issue 87 (F1020-1055)

Petko Petkov  
**F1020C+**  
(Bulgaria)  
In memoriam V. Nestorescu



#3  
Anda

(10+8)

Logical thematic tries:

1.d8=nR+? nRg8=bR+! (If 1...nR~  
2.nrRd8=wR#); 1.b8=nB+? 1...nBa7=bB+!

Paradoxical tries (they belong to the main content) in which white closes white & black lines with idea to prevent black counter-checks:

1.Bg2? (threat 2.d8=nR+) but 1...Sf7!;  
1.Bd4? (threat 2.b8=nB+) but 1...Rb2!;

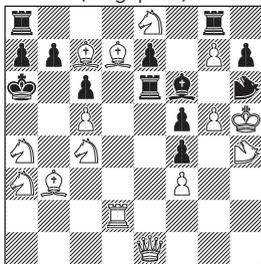
1.e7! (thr. 2.e8=nS+! nS~ 3.nSe8=wS#!);  
1...Bg2! 2.d8=nR+! nRd8~ 3.nRd8=wR#!  
(but not 2.d8=nQ+? nQb6+!);  
1...Sd4 2.b8=nB+! nBa7 2.nBb8=wB#! (but  
not 2.b8=nQ+? nQg8=bQ+!).

An interesting try also with promotion (although it belongs not full to the main thematic) is: 1.c7? (thr. 2.c8=nS+! nS~ 3.nSc8=wS#), but 1...Sd4!

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: The white advanced pawns could promote with check, but then they will become neutral, allowing a black counter-check which will turn them black. In order to successfully promote the pawns, White must oblige Black to prospectively close the counter-check lines. A successful interpretation of logical theme in fairy three-mover!

**F1021** James Quah  
C+ (Singapore)



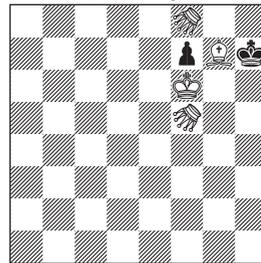
#3 (15+13)  
Quintessence h4, h6

1.Bc8! [2.QNd7+ Rb8 3.QN:b8#]  
1...Re5 2.Re2 [3.Qa5#] R:c5 3.S:c5#  
1...Be5 2.Rd4 [3.Qa5#] B:c7 3.S:c7#  
1...QNe5 2.Rd3 [3.Qa5#] QN:c4 3.B:c4#  
1...Rd6 2.c:d6 [3.Sc5/QNd7#]

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: After the vacating key pinning the black pawn b7, Black can parry the threat by interfering the white Quintessence h4 on its way to d7. There are three different black pieces which can play on e5. However, each move will alternatively interfere two out of the three lines: e6-e1, f6-c3 and h6-b4. That's what is called a triple Novotny – one of James' specialties.

**F1022** Stephan Dietrich  
C+ (Germany)



#7 (4+2)  
Double Grasshoppers f5 f8

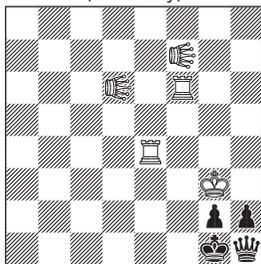
1.DGh8! Kg8 2.DGh6+ Kh7 3.Bf8 Kh8  
4.Bd6 Kh7 5.Bf4 Kh8 6.Be5 Kh7 7.Kg5#

Author: Läuferhinterstellung.

Sunouchi: It took a while to reconfirm checkmate.

Crisan: The mate is surprising, as the white King puts itself on the path of the DGf5 to h7 via h5. The guard of g8, which was performed by DGh6 via e6, is retained by DGf5 via d5.

**F1023** Stephan Dietrich  
C+ (Germany)



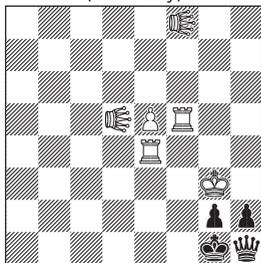
S#7 (5+4)  
Equihopper d6, f7

1.Rg6! Kf1 2.EQh5+ Kg1 3.Kh3 Kf1 4.Rf6+ Kg1 5.EQf2 Kf1 6.EQ:h2+ Kg1 7.Rg4 Q:h2#

Sunouchi: Equihopper on d6 waits for his goal chance.

Crison: ...and doesn't miss the chance, indeed! An instructive sequence of moves, with the expected zugzwang mate occurring after White pieces occupy their final places on the stage.

**F1024** Stephan Dietrich  
C+ (Germany)



S#7 (6+4)  
Equihopper d5 f8

1.EQf2! Kf1 2.EQh4+ Kg1 3.Rg5 Kf1 4.Re3+ Kg1 5.Kh3 Kf2 6.Rgg3+ Kg1 7.R:g2+ Q:g2#

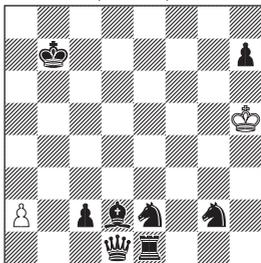
Author: Battery tempo play of rooks using the equihopper distance forces.

Sunouchi: Equihopper on d5 stays in his

center position.

Crison: This time a Rook sacrifices itself. The check of black King is not essential for forcing the mate, but the guard of f2 is. Again, the equihopper properties are very well used.

**F1025** Michel Caillaud  
C+ (France)



S#20 (2+8)  
Black plays only to double check

1.a3,a4? Sg3#?? but 1...Sef4+! il faut éliminer l' échec double indésirable(1)

1.Kg4! 2.Kf5 3.Ke5 4.Kd6? Bf4+? but 4...Bb4+! il faut éliminer l' échec double indésirable(2) 4.Kd5! 5.Kc4 6.Kb3 c1=S+ 7.Kb2 8.Ka1 Sb3+ 9.Kb2 10.Ka3 11.Ka4 Sc5+ 12.Kb5 13.Kc4 14.Kd5 15.Kd6 Bf4+ (Bb4+?) 16.Ke7 17.Kf6 18.Kf5 19.Kg4 20.Kh5 Sg3#(Sef4+??)

Author: Une sorte de "problème logique" où des "avant-plans" permettent d' éliminer les "bonnes défenses" noires.

Editor: Nobody could solve this.

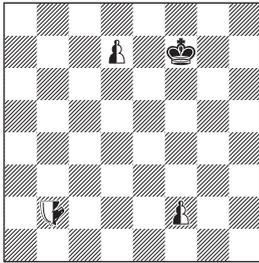
Crison: The preparatory plans eliminate the good black defenses (Sef4 and Bb4). The precision of white moves is realized with specific means. For instance, the apparent duals 3.Ke4/Ke6 are refuted by a double check delivered by the bSe2.

**F1026**

Éric Huber

C+

(Romania)



H#2 b) nNb2→e2 (0+1+3)

Neutral Nightrider b2

Neutral Pawn d7 f2

Billiards

a) 1.f1=nB nNh3+ 2.Ke6 d8=nQ#

b) 1.f1=nN nNf3+ 2.Kf6 d8=nB#

Author: Solutions concluded with mirror specific mates. Neutral battery.

Editor: Nobody could solve this.

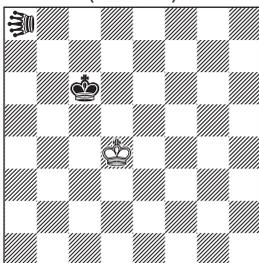
Crisan: In a) the mate is delivered by nBf1 reflected twice on a6 and c8, while the flight e5 is guarded by nNh3 reflected on g1. In b) the mate is delivered by nBd8, while the flight f7 is guarded by nNf3 reflected on h7 and g9, f5 by the same nNf3 reflected on h4, e5 and g6 by nNe2 reflected on i4, while e6 and g7 by the same nNf3 reflected on a4. A geometry study, better than any snooker master trick!

**F1027**

Karol Mlynka

C+

(Slovakia)



H#2 3 Sols (1+2)

b) bKc6 c) wKc5 d)=c)+bKg6

Locust a8

Lortap

a) 1.Kb5 Kc3 2.Ka4 Kb4#

1.Kb7 Kc5 2.Ka6 Kb6#

1.Kb6 Kc4 2.Ka5 Kb5#

b) 1.Kb1 Kc3 2.Ka2 Kb2#

1.Kb3 Kc5 2.Ka4 Kb4#

1.Kb2 Kc4 2.Ka3 Kb3#

c) 1.Kd7 Kf6 2.Ke8 Ke7#

1.Kb7 Kd6 2.Kc8 Kc7#

1.Kc7 Ke6 2.Kd8 Kd7#

d) 1.Kh7 Kf6 2.Kg8 Kg7#

1.Kf7 Kd6 2.Ke8 Ke7#

1.Kg7 Ke6 2.Kf8 Kf7#

Author: Chameleon-echo model-mates in a three-men-problem by white Rex solus with royal moves only.

Sunouchi: Enumerate knockdowns on the rope.

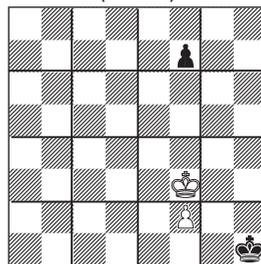
Crisan: 10 distinct mates – probably a record with only three pieces on the board. Is anyone able to beat this task?

**F1028**

Eligiusz Zimmer

C+

(Poland)



(\*) H#2

(2+2)

GridChess

VogtländerChess

(\*) 1...Kg4 2.f6 Kg5#

1.f5 Kg2 2.f4 Kg3#

Sunouchi: Black K never fights against the destiny.

Crisan: True, although its presence is not absolutely necessary! Of course, in Grid Chess the King can never arrive in the corner, but according to the Codex the legality of fairy chess compositions is

never a concern excepting the retro fairies

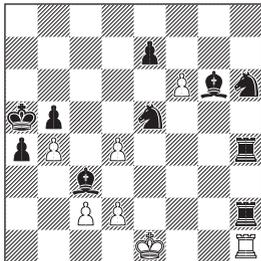
...

Igor Vereshchagin

Andrey Frokin

**F1029**

HC+ (Russia & Ukraine)



H#2

(7+10)

Point Reflection

The last move by White could only be b2-b4+; from a3 the pawn would have to move like a knight (Sh6); from b3, like a bishop (Bg6); nor could the pawn reach b4 from any other square.

1.a:b3 ep. f6-h8=S 2.Ka1 0-0#

Authors: Valladao task.

Sunouchi: Lovely Valladao in an immediate way.

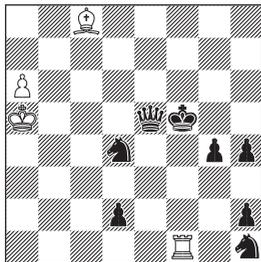
Crisan: ...and here the legality of the position is essential as mentioned in the introduction! I would only add to the pertinent demonstration given by the authors that no white Rook (Knight) could have left g5 in the last move.

Cornel Pacurar

Éric Huber

**F1030**

C+ (Canada & Romania)



(\*) H#2.5 2 Sols

(4+8)

Point Reflection

(\*) 2.Qd3 Rh3+ 3.Ke5 Pe6#

1...Rc4+ 2.Kf1 Rc1+ 3.Kh3 Rf1#

1...Bc4+ 2.Kc8 Be6+ 3.Ka8 Bc8#

Sunouchi: As the result, black K teleports in the space.

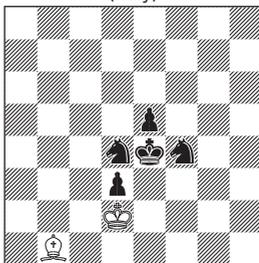
Crisan: The set play suggests a tempo play, but surprisingly white has none. In the real play both the Rook and the Bishop show a Rundlauf. The dynamic play is characteristic for the huge capabilities unleashed by this excellent fairy condition.

**F1031**

Vito Rallo

C+

(Italy)



H#3 b) wKf1

(2+5)

Masand

a) 1.Sb5 B:d3[b5=w]+ 2.Kd5 Sc7+ 3.Kd4 Se6[f4=w]#

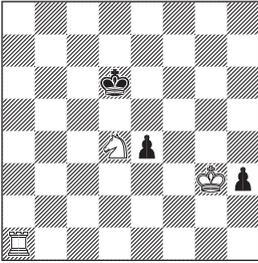
b) 1.Kf5 Kg1 2.Sde2[f4=w]+ Kf2 3.Ke4 B:d3[e2=w]#

Author: bK switchback.

Sunouchi: Sensitive moves of Ks are essential.

Crisan: I would suggest the author adding the third twin c) wBf1 with the solution 1.Sfe2 Ke1 2.d2[c1=b]+ Kf1 3.d1=Q[c1=w][e2=w][d4=w]+ Sc3[d1=w]#

**F1032** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



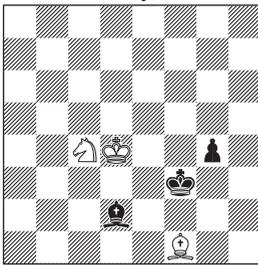
H#3 (3+3)  
b) H=3

- a) 1.Kc7 Sc6 2.Kb7 Rb1+ 3.Ka8 Rb8#  
b) 1.Ke5 K:h3 2.Kf4 Rd1 3.Ke3 Kg3=

Sunouchi: Black K goes in the opposite directions.

Crizan: I expected to see more solvers, as this seems to be composed rather effortlessly.

**F1033** Vito Rallo  
C+ (Italy)



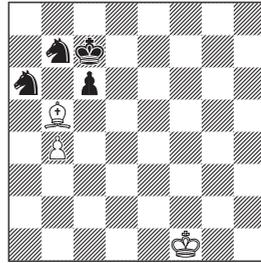
H#3 2 Sols (3+3)  
Chameleon Circe

- 1.Be1 Be2+ 2.K:e2[+wRh1] Ke4 3.Bf2 Re1#  
1.Kg3 Sd6 2.Be3+ K:e3[+bRh8] 3.Rh2 Sf5#

Author: Miniature. Sacrifice with check of the wB which becomes wR after capture and mates due to self-guard. Sacrifice with check of the bB which becomes bR after capture and selfblocks.

Crizan: Only the first solution ends in a specific mate. I like the chameleon transformations for both sides. A deceptively simple setting, but not easy to solve!

**F1034** Eligiusz Zimmer  
C+ (Poland)



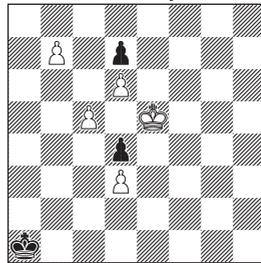
H#3 (3+4)  
b) H=3  
Tibet ImmunChess

- a) 1.S:b4=wS Ba6 2.Kb8 S:c6+ 3.Ka8 B:b7#  
b) 1.Kb8 B:c6 2.Sc7 b5 3.S:b5=wS B:b7=

Sunouchi: Bxb7 is the judgment to isolated K.

Crizan: The presence of wKf1 means the white Bishop is invulnerable under Immun Chess rules. The problem can be solved by thinking backwards: finding the final position and trying to find a sequence leading to that position.

**F1035** Andreas Thoma  
C+ (Germany)



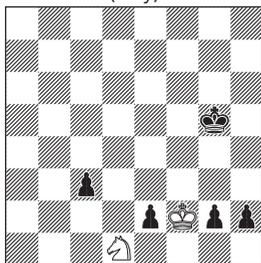
H#3 Duplex (5+3)  
Disparate

BTM: 1.Kb2 b8=S 2.Kc3 Sc6 3.d:c6 K:d4#  
 WTM: 1.b8=S Kb2 2.Sc6 Kc3 3.S:d4  
 K:d4#

Sunouchi: Which K can get the right and turn to d4?

Crisan: A funny and paradoxical idea: the black King ideally placed in the corner must go in the center of the board in order to get mated.

**F1036** Vito Rallo  
 C+ (Italy)



H#3.5 2 Sols (2+5)  
 Parrain Circe

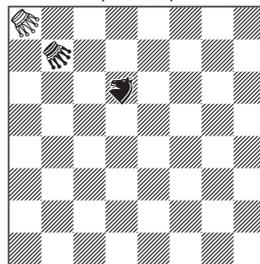
1...Sc3 2.Kh4 S:e2 3.Kh3[+bPe1=B]+ Kf3  
 4.Bh4 Sf4#  
 1...K:g2 2.Kg4[+bPg1=R]+ K:h2  
 3.Rg3[+bPh4] Kh1 4.Kh3 Sf2#

Author: Selfblock, Black Anderssen, royal black battery.

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: Parrain Circe always requires out-of-the-box thinking. I think bPb3 can be safely removed from the board.

**F1037** Sébastien Luce  
 C+ (France)



H#7.5 (1+2)

Contra-Grasshopper a8  
 Royal Contra-Grasshopper b7  
 Moose d6

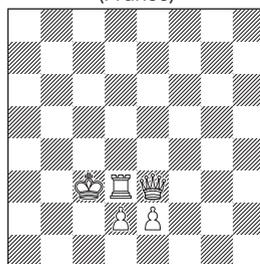
1...CGc6 2.rCGf3 CGe6 3.Mf5 CGg4 4.Mg3  
 CGg2 5.rCGh1 CGg4 6.Mf5 CGe6 7.Md6  
 CGc6 8.Mb7 CGa8#

Author: Switchback of the Contra-Grasshopper from a8 to g2 then g2 to a8 exactly by the same way!

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: Curiously enough, if the Contra-Grasshoppers switch their positions then we reach to a H#8 having the solution 1.rCGc6 CGd5 2.Mc4 CGB7 3.Md7 CGd5 4.Mb6 CGB7 5.rCGa8 CGB5 6.Mc4 CGd3 7.Me3 CGf3 8.Mg2 CGh1# Is it possible to combine these two mates into a single setting?

**F1038** Michel Caillaud  
 (France)



H#18 (5+0)

17 Total Invisibles  
 (Dedicated to Junichi Inoue,  
 Ken Kousaka & Shinichi Soma)

1.TI~ Kb4 2.TI~ Rb3 3.TI~ d4 4.TI~ d:e5  
 5.TI~ e:f6 6.TI~ f:g7 7.TI~ g:h8=B 8.TI~  
 Ba1! 9.TI~ Qc3 10.TI~ e4 11.TI~ e:d5  
 12.TI~ d:c6 13.TI~ c:b7 14.TI~ b:a8=R  
 15.TI~ Ra2! 16.TI~ Ka3! 17.TI~ Rab2!  
 18.TI:a1! Rb1# (Tia1=black King, the  
 only possibility!

Author: 9.Qd4? et avec un possible TIC3,  
 l'échec final n'est plus double.

16.TI~ Rab2? 17.TI~ Ka3 18.TI:a1 Rb1,  
 le Tia1 peut être une Tour car un TI  
 peut être interposé sur a2, par exemple:  
 17.Bb1-a2! Ka3 18.K:a1 Rb1

La solution consiste à construire une  
 configuration où le Roi noir est identifié par  
 une capture. Il faut éviter les démolitions  
 où le Roi noir est identifié par élimination.  
 15 TIs noirs peuvent être révélés par des  
 captures: 12 en étant capturés par les  
 Pions blancs, 3 en capturant des pièces  
 blanches (il faut garder une pièce blanche  
 pour mater!).

Type de démolition avec 15(=12+3) TIs :  
 14 des 15 TI noirs sont capturés, le  
 dernier TI noir est le Roi noir.

Type de démolition avec 16(=12+3+1!)  
 TIs, relevé par Junichi INOUE :

n.TI~!! TI~ est joué dans la solution, ce  
 qui prouve qu'un des TI est blanc.

Le type de démolition avec révélation de  
 15 TIs noirs peut alors être appliqué!

Avec 17 TIs, un TI est blanc, mais on  
 ne peut révéler que 15 des 16 TI noirs  
 possibles...

Type de démolition avec 15(=12+3)  
 TIs:14 des 15 TI noirs sont capturés, le  
 dernier TI noir est le Roi noir.

Type de démolition avec 16(=12+3+1!)  
 TIs, relevé par Junichi INOUE: n.TI~!!  
 TI~ est joué dans la solution, ce qui  
 prouve qu'un des TI est blanc. Le type de  
 démolition avec révélation de 15 TIs noirs  
 peut alors être appliqué!

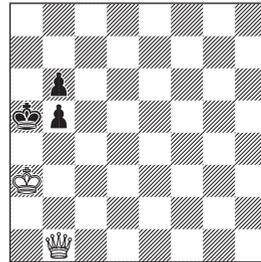
Avec 17 TIs, un TI est blanc, mais on

ne peut révéler que 15 des 16 TI noirs  
 possibles...

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: This is the clever correction  
 of Michel' s F920. No black move is  
 visible and the whole play actually looks  
 like a serial mover. The solution must  
 demonstrate beyond any doubt the  
 roundabout of the invisible black King.

**F1039** Slobodan Šaletić  
 C+ (Serbia)



(\*) H=2 (2+3)

(\*) 1...Qh7 2.Ka6 Kb4=  
 1.b4+ Kb3 2.b5 Qg6=

Author: Chameleon echo!

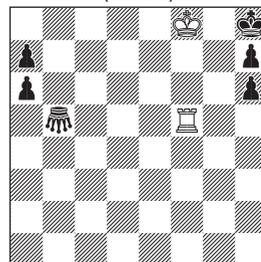
Kobayashi: A short play.

Mizuno: Chameleon echo.

Sunouchi: A kind of chameleon echo has  
 nice sense.

Crisan: One of the three top-most solver  
 appealing compositions.

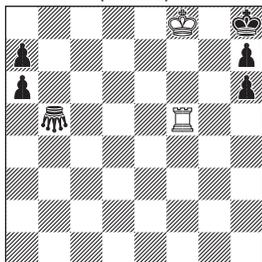
**F1040** Slobodan Šaletić  
 C+ (Serbia)



(\*) H=2 (2+6)

b) After Key  
 Grasshopper b5

**F1040** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



(\*) H=2 (2+6)

b) After Key  
Grasshopper b5

a) (\*) 1...Rg5 2.Gh5 Ra5=

1.Gg5 Rb5 2.Ga5 Rh5=

b) (\*) 1...Rb5 2.Ga5 Rh5=

1.Ge5 Rg5 2.Gh5 Ra5=

Author: Perpetuum mobile!

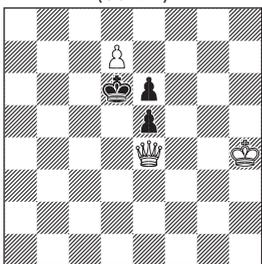
Kobayashi: A swinging grasshopper.

Mizuno: a) and b) doing the same thing reversed.

Sunouchi: It seems like infinite loop of conditions.

Crisan: Who can show this theme in a more economic setting?

**F1041** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



(\*) H=2 (3+3)

(\*) 1...d8=Q+ 2.Kc5 Qb8=

1.Ke7 d8=R 2.Kf6 Rd7=

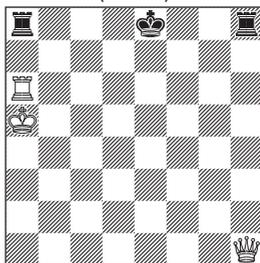
Mizuno: R-underpromotion was unexpected.

Sunouchi: Under-promotion is a technical

point.

Crisan: Everybody could solve this...

**F1042** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=2 2 Sols (3+3)

1.0-0-0 Q:h8 2.Kb7 Q:d8=

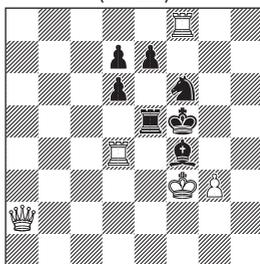
1.0-0-0 Q:a8 2.Kh7 Q:f8=

Uchida: A fine combination of castling and stalemate.

Sunouchi: Such a primitive problem is welcome.

Crisan: ...and this one, too! These didactic compositions invite solvers to show their own attempts in realizing simple themes.

**F1043** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=2 (5+7)

b) wRd4→h1

a) 1.Re6 Qd5+ 2.Be5 Rg4=

b) 1.Rd5 Rh6 2.Ke6 K:f4=

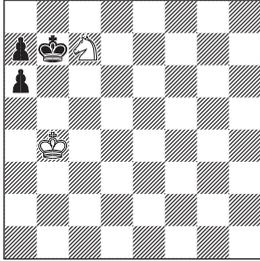
Kobayashi: This one is interesting.

Sunouchi: Jam-packed blacks with pins are funny.

Crisan: Oh! What fun it is to ride pinning all the way.

Crisan: Is anyone able to show two black incarcerated promotions?

**F1044** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



H=2.5 (2+3)

b) wSc7→d5

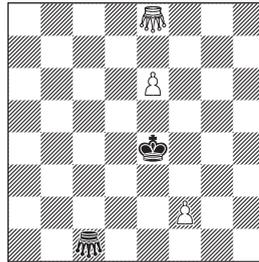
- a) 1...Kc5 2.Kb8 S:a6+ 3.Ka8 Kc6=  
b) 1...Sc3 2.Kb6 Kc4 3.Ka5 Kc5=

Kobayashi: A fun.

Sunouchi: Nervous moves of both Ks are humorous.

Crisan: I like how both Kings need two moves in order to reach to their final squares: bKb7 to a8, respectively wKb4 to c5.

**F1046** Sébastien Luce  
C+ Dedicated to V. Crisan (France)



h==6/5 (3+2)

Grasshopper e8, c1

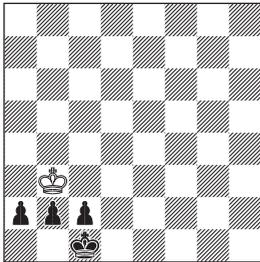
- 1...f3+ 2.Kf5 f4 3.Gg5 e7 4.Ge5+ f:e5  
5.Kg6 rGe6 6.Kf7+ rGe4 7.Ke8 e6==

Author: Exchange of positions rGe8/Ke4 in the final position.

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: The initial version submitted by Sébastien had the wPe6 placed on e7 with the solution: 1...f4 2.Gg5 rGe6 3.Kf5+ rGe8 4.Ge5+ f:e5 5.Kg6 rGe6 6.Kf7+ rGe4 7.Ke8 e6==. Not sure which is better – let the judge decide!

**F1045** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



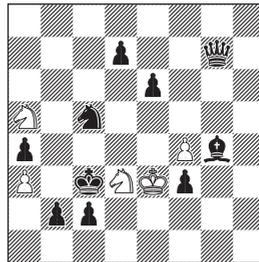
H=3 (1+4)

b) bPb2→a5

- a) 1.Kb1 Kc3 2.Ka1 Kd2 3.b1=B Kc1=  
b) 1.a4+ K:a4 2.Kb1 Kb3 3.Ka1 K:c2=

Sunouchi: Of course b1=B is the first impression.

**F1047** Menachem Witztum  
C+ Emanuel Navon (Israel)



HS#2.5 3 Sols (5+10)

- 1...Bh5 2.Sc1 Qg3 3.Se2+ f:e2#  
1...d5 2.S:b2 Qa7 3.S:a4+ S:a4#  
1...Qe7 2.Sb4 Sd3 3.Sd5+ e:d5#

Sunouchi: United solutions are comfortable to solve.

Crisan: Black Queen hides behind three different black pieces, creating three different batteries. These batteries are activated by the sacrifices of the wSd3 on different squares.

Author: Ideal mate.

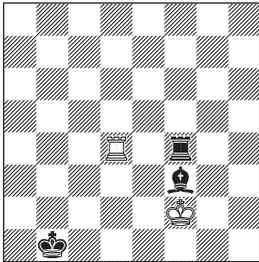
Kobayashi: Is that all?

Mizuno: A lot easier than I had expected.

Sunouchi: An automatic solution is valuable.

Crisan: Can anyone add a twin ending with another ideal mate?

**F1048** Sergej Smotrov  
C+ (Kazakhstan)



HS#5.5 2 Sols (2+3)  
Köko

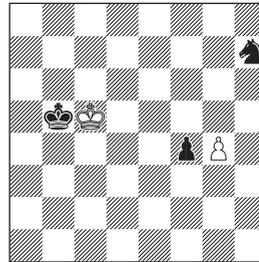
1...Bg2+ 2.Ke3 Rf1 3.Rd3 Rc1 4.Kf2 Kc2  
5.Rc3+ Kd1 6.Ke1+ Ke2#  
1...Re4 2.Rd3 Re2+ 3.Ke1 Ra2 4.Ra3 Be2  
5.Kd1 Ra1 6.Kc1+ Kc2#

Author: Echo mates.

Editor: Nobody could solve this.

Crisan: Nice and unexpected royal battery mates!

**F1050** Éric Huber  
C+ (Romania)



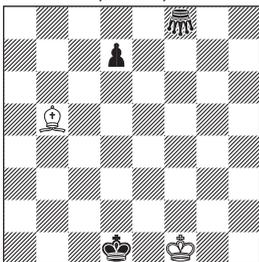
SH#8 2 Sols (2+3)  
Point Reflection

1.Sf6 2.S:g4 3.Kc7 4.f3 5.f2 6.f1=Q 7.Qf3  
8.Sf2 Kc6#  
1.Sg5 2.Kb4 3.Ka6 4.e3 5.e2 6.e1=Q  
7.Qg3 8.Sh3+ Kb6#

Editor: Seiichiro gave 1.Sg5 2.Kb4 3.Ka6 4.g3 5.g2 6.g1=Q 7.Qg3 8.Sh3 Kg3# as a solution, but 6.g1=Q? unfortunately gives check to wK.

Crisan: Typical gem from Eric: one must be very careful not to fall into a hidden trap! In the final positions the white King has the power of a Queen, while the black King has the power of a Knight.

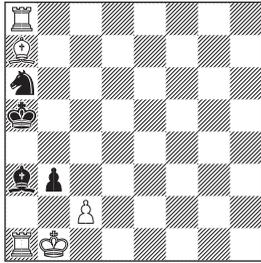
**F1049** Slobodan Šaletić  
C+ (Serbia)



SH#8 (2+3)  
Grasshopper f8

1.d6 2.Gc5 3.d5 4.d4 5.Ge3 6.d3 7.d2  
8.Gc1 Ba4#

**F1051** Žarko Pešikan (+)  
C+ (Serbia)



SH=9 (5+4)

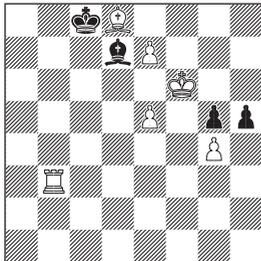
1.b2 2.b:a1=S 3.Sb3 4.Sbc5 5.Sa4 6.Bc5  
7.Kb4 8.Ka3 9.Sb4 B:c5=

Kobayashi: I could solve this at the instant when I imagined that if Sa6 were N. I wonder why.

Sunouchi: Imagine the finale to unravel the pieces on a-file.

Crisan: Quite difficult, even knowing the two black pieces must be eventually pinned. Thanks, Slobodan, for sending us these pearls!

**F1052** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



SH=14 (6+4)

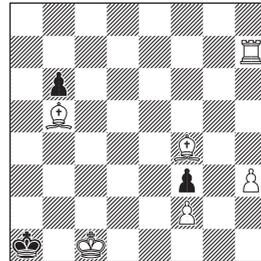
1.Bf5 2.Kd7 3.Kc6 4.Kd5 5.Ke4 6.Kf4  
7.K:g4 8.Kh4 9.g4 10.g3 11.g2 12.g1=R  
13.Rg7 14.R:e7 K:f5=

Author: Meredith. Minor promotion. Battery. Model pin stalemate.

Kobayashi: wB does its job at the last moment. Aha!

Crisan: Bravo, Kankuh! A typical puzzle to show at the club: one must discover where will be stalemated the black King. The double masked royal battery is activated at the end.

**F1053** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



SH=16 (6+3)

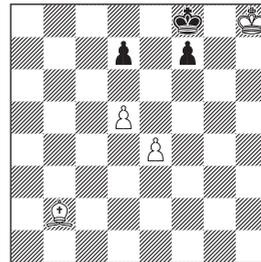
1.Ka2 2.Kb3 3.Kc3 4.Kd4 5.Ke4 6.Kf5  
7.Kg6 8.K:h7 9.Kg6 10.Kh5 11.Kh4  
12.K:h3 13.Kg2 14.K:f2 15.Ke1 16.f2  
Bg3=

Author: Meredith. Ideal pin stalemate.

Sunouchi: After a long trip of K, I noticed the pin finally.

Crisan: The wBb5 can't move because it blocks bPb6, so one might ask how it will be used.

**F1054** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)

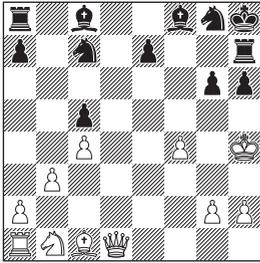


ser-hs#15 (4+3)

Transmuted Kings

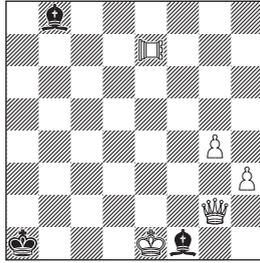
(Continued on p.)

**R280** Paul Răican  
(Romania)



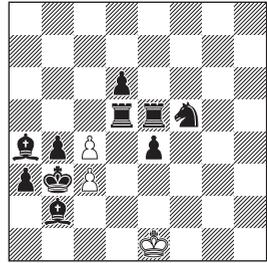
Proof Game 31.5 (11+12)  
Duelist

**R281** Klaus Wenda  
Vlaicu Crisan  
(Austria, Romania)



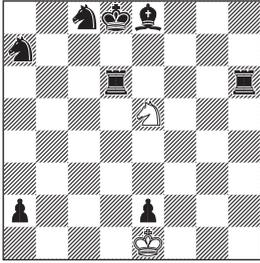
-9 & S#1 (5+3)  
Proca Retractor  
AntiCirce Calvet  
Pao e7

**R282** Andreas Thoma  
(Germany)



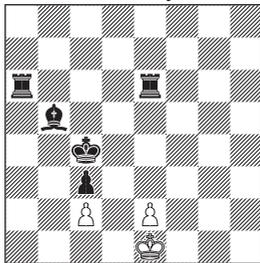
-6 & #1 (3+10)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

**R283** Andreas Thoma  
(Germany)



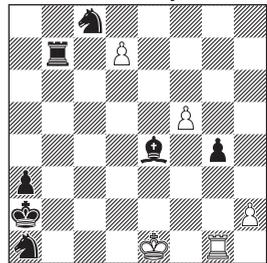
-3 & #1 (2+8)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

**R284** Andreas Thoma  
(Germany)



-3 & #1 (3+5)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

**R285** Andreas Thoma  
(Germany)



-4 & #1 (5+7)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

## Retro

### Retro Editor

**Naoki Matsuzaki (松崎直樹)**

**Judge 2019-2020**

**Thomas Brand (Germany)**

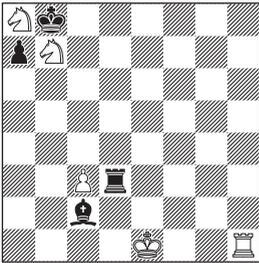
☆今回は PG1 作と Retractor 5 作の計 6 作です。R280 は、R260 の修正版のような位置付けで、前回と同じく P の前に S を置いて止める手順を繰り返したり、K が動いた直後に K が動けないようにして他の駒に切り替えたりします。R281 は、初手で Pao 取

りを逆算します。フェアリー駒の再生位置は、駒取りのあった筋の最奥です。Calvet などで再生位置にある駒を取ることができます。白は最後に Pao と Q でダブルチェックし、黒が駒を取ってダブルチェックで詰みます。R282 は、レトロスタイルメイトの回避がテーマです。wP が戻れないようにして wK だけが動けた局面にします。このとき直前の白の手が存在するためには e8 に黒駒を戻さなければならなくなるので、wK で詰まします。R283 は、bR にチェックされた局面に繰り返し戻しますが、このとき bR がホームに戻るしかありません。途中白駒が発生し、その種類により 4 通りの変化に分

かれます。R284 は、e8 を黒駒で塞いで wK で詰まします。wK の最終目的地はすぐ分かると思います。e8 の駒にチェックされた局面を作るのですが、e8 に駒を残したまま別の駒を戻させるよう、ダブルチェックを活用します。R285 は、bR の再生位置を黒駒で塞がせてから wR で詰まします。h8 まで 2 手で戻れる位置に駒を逆算した後、bR が動かずにチェックした局面を作ります。全体的にかなり難しめですが、手数短い 2 作だけでも挑戦してみてください。皆さまの解答をお待ちしています。

**Issue 87 (R271-278)**

**R271** Andreas Thoma (Germany)

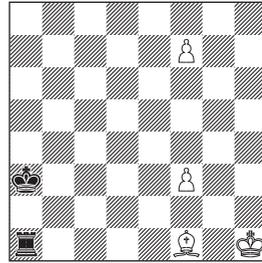


-3 & S#1 (5+4)  
 Proca Retractor  
 AntiCirce Cheylian  
 2 sols.

- a) -1. Ra1xRd1(Rh1) Rd2-d1+ -2. Kd8xBe8(Ke1) Bd7-e8+ -3. Rb5xQe5(Ra1) & 1. Sa5+ Bxb5(Bc8) #
- b) -1. Kc1xPb2(Ke1) b3-b2+ -2. Ra1xRb1(Rh1) Rb2-b1+ -3. Rb5xRa5(Ra1) & 1. Sd6+ Ra1#

wK の詰む場所の上下で 2 通りの手順となっている。両手順とも wRh1 を a1 に戻した後、さらに b5 に戻して S を動かしてチェックし、黒の応手で詰む。チェックしたとき K が駒を取って逃げられないように注意する。

**R272** Andreas Thoma (Germany)

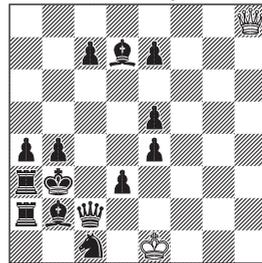


-7 & S#1 (4+2)  
 Proca Retractor  
 AntiCirce Cheylian

- 1. Ba2xQd5(Bf1) Qa8-d5+ -2. Kg1-h1 Qh8-a8+ -3. Kf1-g1 Qa8-h8+ -4. Ke1-f1 Qh8-a8+ -5. Kb1xRb2(Ke1) Qa8-h8+ -6. Kc1-b1 Qh8-a8+ -7. Bb3-a2 & 1. f8=Q+ Qxf8(Qd8) #

前半は bR が動かずにチェックした局面を作り、bQ を bR の再生位置に戻し続ける。bR 取りを戻した後は、wK が e1 に逃げられないように c1 に離れてから P を成ってチェックする。bK が e8 に逃げられないよう B ではなく Q に成る。

**R273** Andreas Thoma (Germany)



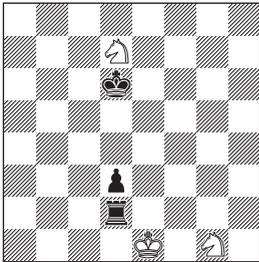
-2 & #1 (2+14)  
 Proca Retractor  
 AntiCirce Cheylian  
 3 sols.

- a) -1. Kd4xSd5(Ke1) Sc3-d5+ -2.  
Qe8-h8 & 1. Kc4#
- b) -1. Kc5xBd4(Ke1) Bc3-d4+ -2.  
Qh2-h8 & 1. Qxc2(Qd1)#
- c) -1. Kd2xPc3(Ke1) Qb1-c2+ -2.  
Qa8-h8 & 1. Qd5#

盤上に7つのbPが残っており、もう1つは成った可能性がある。bKの周囲に黒駒があつて逃げられる場所が少ない。c3とe8を塞いでwKで詰ます手順と、d1への利きをなくして離れた場所からQでチェックする手順で合わせて3通りとなる。

Sunouchi: Touchdown-defense is a clue to solve.

**R274** Andreas Thoma  
(Germany)

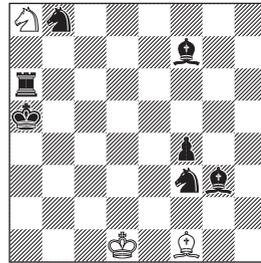


-6 & #1 (3+3)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan  
2 sols.

- a) -1. Kf2xPf3(Ke1) Rd1-d2+ -2.  
Ke2-f2 Ke7-d6+ -3. Ke1-e2 Rd2-d1+  
-4. Kf5xBg4(Ke1) Bh5-g4+ -5.  
Se6xSg7(Sg1) Se8-g7+ -6. Sd8-e6 & 1.  
Ke6#
- b) -1. Kg3xPh4(Ke1) h5-h4+ -2. Kf2-g3  
Rd1-d2+ -3. Ke1-f2 Rd2-d1+ -4.  
Kf5xPe6(Ke1) e7-e6+ -5. Se6xSg7(Sg1)  
Se8-g7+ -6. Sb8-d7 & 1. Ke5#

白は2つのSとKで詰ますしかない上にbKの逃げ道が多く、詰みにくそうな形をしている。両手順ともwSをe6に戻して活用する。bSg7を逆算したときに周囲に他の駒があるため、e8に戻るしかなくなる。

**R275** Andreas Thoma  
(Germany)

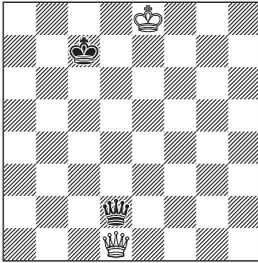


-5 & #1 (3+7)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

- 1. Bg6xPc2(Bf1) c3-c2+ -2. Kd2-d1  
c4-c3+ -3. Ke1-d2 Bh2-g3+ -4.  
Kc5xRc6(Ke1) R~-c6+ -5. a7-a8=S & 1.  
axb8=R(Ra1)#

a8にwSがあり、成りを戻してb8でRに成るとチェックとなる。これで詰むためには、bKがb筋に逃げられないようにすることと、bBf7が利かないようにすることが必要である。そこでbPをc4まで戻してから、wKをe1に戻して駒取りを逆算する。初手wBg6は-4...Sg6x~h8(Sb8)+を成立させないためにこの位置となる。

**R276** Andreas Thoma  
(Germany)



-2 & #1 (2+2)  
Proca Retractor  
AntiCirce Cheylan

-1. Qe6xRc8(Qd1) Kd8-c7+ -2. Qe1-e6+  
& 1. Qe7#

bQがd1とe1の両方に利いているので、単純にwKとwQの一方でチェックしても詰まない。e8が塞がっているためにbKd8と端に寄せられるので、チェックを戻してダブルチェックで詰ます。

Sunouchi: Black K must accept the risky square.

**R277** Pierre Tritten  
(France)



Proof Game 8.5 (12+12)  
Breton

1. g4 f5 2. g5 f4 3. g6 f3 4. gxh7(xb2)  
fxe2(xe7) 5. hxg8=S(xb1) exf1=B(xc8)  
6. Se7 Ba6 7. Sd5 b5 8. Sc3 Bc8 9. Sb1

駒を取るときは同種の自駒も取られるというルールだが、盤上に残っているB, Sは3つずつで白と黒の数が合わない。したがってPが成ったはずであり、手数から初形の駒が取られて成駒に戻る Pronkin だと分かる。

Sunouchi: Equivalent exchange law but promotions.

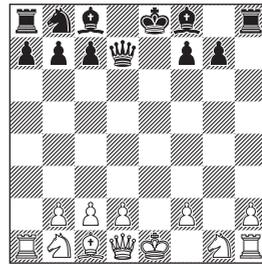
Author: In each side, promoted piece replace self-annihilated piece.

**Cook!** (by François Labelle with Jacobi)

1. Sh3 b5 2. e4 f5 3. Bd3 f4 4. e5 f3 5.  
Bxh7(xb2) fxg2(xe7) 6. e6 g1=B 7. e7  
Kf7 8. e8=S Kxe8(xg8) 9. Sxg1(xh7)

☆ソフトの更新により機械検出が可能となり、別手順が発見されました。作者より修正図をいただきました。ちなみに、白黒ともいずれかのPが5回動いたという制約付きで、検出に50分ほどかかっています。

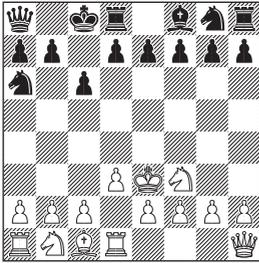
**R277c** Pierre Tritten  
C+ (France)



Proof Game 8.5 (12+12)  
Breton

1. g4 d5 2. g5 d4 3. g6 d3 4. gxh7(xa2)  
dxe2(xe7) 5. hxg8=S(xb1) exf1=B(xc8)  
6. Se7 Bh3 7. Sd5 Bc8 8. Sc3 Qd7 9.  
Sb1

**R278** Akira Uchida  
C+ 内田 昭



Proof Game 12.5 (15+15)

1. d3 c6 2. Kd2 Qa5+ 3. Ke3 Qe1 4. Qd2 Qxf1 5. Qa5 Qe1 6. Qc7 Qa5 7. Qxc8+ Qd8 8. Qc7 Sa6 9. Qa5 Qc7 10. Sf3 0-0-0 11. Rd1 Qb8 12. Qe1 Qa8 13. Qh1

wBf1 と bBc8 は動かずに取られている。Q と R の位置が入れ換っており、S で B を取るには手数足りない。Q で B を取って戻ってきたと考えると手数が丁度合う。Qxc8 のときチェック放置とならないよう、bQ は一旦 d8 に戻ることになる。

則 内 : Q 同 士 の traffic and chase が thrilling。  
作者 : Q の着手が多い易しい作です。

**Fコース**

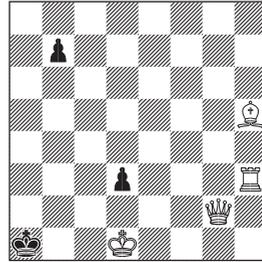
(Continued from p.33)

- 1.f5 2.f4 3.f3 4.f2 5.f1=S 6.Se3 7.S:d5 8.Se7 9.d5 10.d:e4 11.e3 12.e2 13.e1=B 14.Bd2 15.Bh6 & 1.Bg7+ B:g7#

Author: Miniature. Double Excelsior. Underpromotions.  
Sunouchi: Who comes to f7 must

capture a pawn.  
Crisan: An elegant miniature with two minor promotions.

**F1055** Ľuboš Kekely  
C+ (Slovakia)



ser-hs#15 (4+3)  
Transmuted Kings

- 1.b5 2.b4 3.b3 4.b2 5.b1=B 6.Ba2 7.Be6 8.B:h3 9.B:g2 10.Kb2 11.Kc3 12.Kd4 13.Ke3 14.Kf2 15.Kf1 & 1.Be2+ d:e2#

Author: Miniature. Excelsior. Minor promotion.  
Sunouchi: Blacks draw arcs above immovable white K.  
Crisan: Here the white King gets mated by the black Pawn.

Congratulations to Seiichiro for his consistent performance and pertinent comments. Many thanks to Kankuh, Akira, Katsuhisa and Masakazu for solving these fairies: I hope you enjoyed a lot the experience. Good luck and inspiration for the originals published in this issue.



# Shogi

Shogi Editor

AIBA Takehiro (會場健大)

Judge 2018-2020

SUDO Daisuke (須藤大輔)

☆ U272、攻め方の飛角を逆に書くという大ミスをやらかしてしまいました…。作者の馬屋原さんと時間を使って考えられた解答者の皆様にお詫びします。申し訳ありませんでした。

☆もうひとつお詫び。U85 及び U86 で駒井さんの点数が間違っておりました。どちらも全題正解でした。大変申し訳ありません。

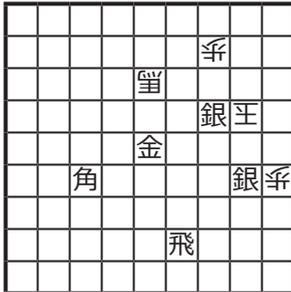
☆出口さんの大作が登場。Transmuted King、チェスでの呼び方でしょうか。おそらく詰将棋の呼び方では鏡ないし天竺のことと思います。

☆なんだかいろいろある世の中です。皆様体調にお気をつけてお過ごしください。

## Issue 87 (U265-268)

U265 KOBAYASHI Toshiki

小林敏樹



### ▲ 金

詰将棋 5手

2解

23 金、34 玉、43 飛成、同馬、

67 角迄 5手。

14 金、34 玉、43 角成、同馬、

38 飛迄 5手。

☆詰将棋でなかなか認知されてこないツイン

の世界。小林敏樹さんが理想的な作品を作ってくれました。23 金から入る手順では飛車を捨てて角で詰め、14 金から入る手順では角を捨てて飛車で詰める。斜めの筋と縦の筋の対照性になっており、プロブレムの世界では Orthogonal-Diagonal Transformation と呼ばれるものであるらしい。

原岡：きれいな 2 解。

駒井：これは Zilahi ですな。

九尾：金の打ち分けに味があります。

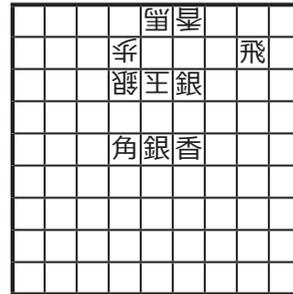
及川：理想的で綺麗な 2 解。

星野：43 に捨てる理由も統一できたら良かった。

☆飛車捨ては退路封鎖で、角捨ては守備駒の利き外しになっているというご意見。なるほど。

U266 KOBAYASHI Toshiki

小林敏樹



### ▲ 桂

詰将棋 5手

ヴァリエーションあり

42 銀、同香、43 角成、同香、

65 桂迄 5手。

42 銀、同馬、43 香成、同馬、

45 桂迄 5手。

水野：ヴァリエーションって変同のことですか。

☆実はわたしよく分かっておりません……。詰将棋的な言葉を使えば、まずは変同を利用した 2 解の表現ということでもいいのだらうとは思いますが。

作者：「何だこれは？」という怪訝な顔が目に見えます。square vacation を dual avoidance と絡めてやってみたのですが、作



# Problem Paradise

## Informal Tourney Award

### Helpmate 2018

Judge: Nikola Stolev

I thank Mr Masato Yoshii for the invitation to judge this tourney. This year in the h# tourney a total of 82 chess compositions participated, of which 32 h#2s, 28 h#s in 2½-3 moves and 22 h#s in 3½-n moves (in No. 81 – a total of 18 problems, of which 6 h#2s, 7 h#s in 2½-3 moves, and 5 h#s in 3½-n moves; in No. 82 – a total of 22 problems, of which 13 h#2s, 5 h#s in 2½-3 moves, and 4 h#s in 3½-n moves; in No. 83 – a total of 20 problems, of which 6 h#2s, 8 h#s in 2½-3 moves, and 6 h#s in 3½-n moves; in No. 84 – a total of 22 problems, of which 7 h#2s, 8 h#s in 2½-3 moves, and 7 h#s in 3½-n moves).

Owing to the relatively big number of published problems and their different number of moves, as well as the relatively big number of problems which I considered deserving to be decorated, I decided to divide the published problems in two groups. I think that the quality of the problems in the h#>2 section is better. I consider the award to be open for remarks and suggestions in a period of three months after its publication.

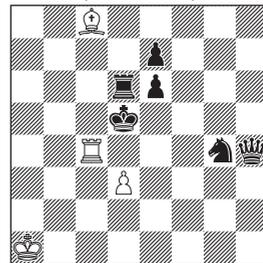
### H#2

In this tourney section a total of 32 problems participated. I evaluate the tourney section's quality as average, without some important achievements. Therefore, I did not award the highest decoration.

I propose the following ranking:

#### 1st HM

**H1003** Zivko Janevski  
C+ (Macedonia)



H#2 3sols (4+6)

- I. 1.Se5 a6 2.Qe4 dxe4#;
- II. 1.e5 Bf5 2.e6 Be4#;
- III. 1.Ke5 Bxe6 2.Qf6 Re4#.

A triple play on e5 on the black first move and mates on the same square in an elegant Meredith position. A problem with a simple play, but a valuable achievement.

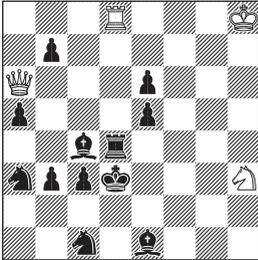


b)1.Kxf5 bxc8R 2.Re4 Rf8#.

Phoenix (Q/S).

**Comm**

**H1047** Stefan Milewski  
C+ (Poland)



H#2 (4+12)

b) bPc3→b4

a)1.Rd5 Sf2+ 2.Kd4 Qb6#;

b) 1.Bb5 Sf4+ 2.Kc4 Rc8#.

A well-known problem motif.

**H#>2**

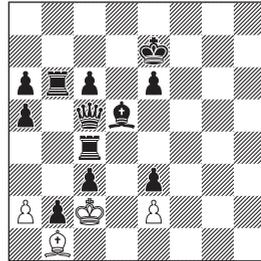
In this tourney section 50 chess compositions participated. I rank the tourney section as excellent. All decorated problems are good achievements, of which some are outstanding achievements whose ranking was not easily made.

Here is my proposal for the ranking:

**1st Prize**

Zlatko Mihajloski

**H995** Petre Stojoski  
C+ (Macedonia)



H#5 (4+12)

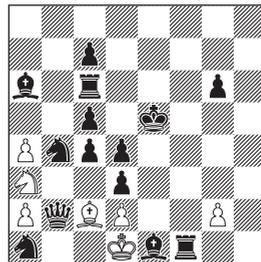
1.Kd6 Kd1 2.Qd4+ Bd3 3. Kc5 Kc2

4.Kb5 Kb3 5.Qc5 a4#

Rendering of double Klasinc (wBK-bQK) with a pin mate. Excellent.

**2nd-4th Prize**

**H1056** Christopher J.A. Jones  
C+ (Great Britain)



H#3.5 (7+14)

b) wSa3→h1

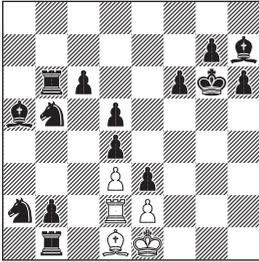
a) 1...Sxc4+ 2.Kd5 Sxb2 3.Sb3 Sc4 4.Kxc4 Bxb3#;

b) 1...Bxd3 2.Bf2+ Bxf1 3.Ke4 Bd3+ 4.Kxd3 Sxf2#.

A good idea with Zilahi and other problem motifs in a heavy position.

### 2nd-4th Prize

**H1017** Gennady Chumakov  
C+ (Russia)



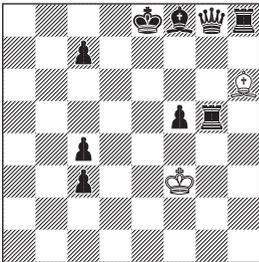
H#4 (5+15)  
b) bPg7→h5

- a) 1.Sbc3 Rb2 2.Sc1 Rb5 3.S1xe2 Rxd5  
4.Sc1 Bh5#;  
b) 1.Sc1 Sb3 2.Sc3 Bxd5 3.S3xe2 Be6  
4.Sc3 Rg2#.

A good idea by the author, but there are captures of black pieces. Multiple black play by the same piece.

### 2nd-4th Prize

**H1019** Fadil Abdurahmanovic  
C+ (Bosnia Hercegovina)



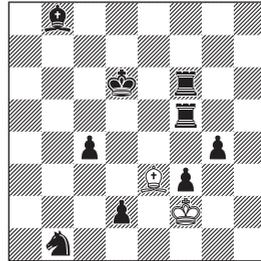
H#6 (2+9)

- 1.Qg5 Bg7 2.Be7 Bxc3 3.0-0 Kf4 4.Rf7  
Ke5 5.Kg7 Kd4 6.Kf6 Kd5#.

A rich play with many unexpected moves.

### 5th Prize

**H1060** Zlatko Mihajloski  
C+ (Macedonia)  
Petre Stojoski



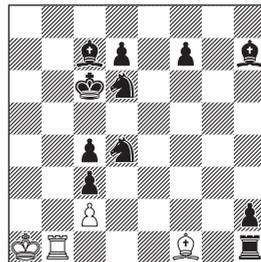
H#5.5 (2+9)

- 1...Kf1 2.Ke5 Bg1 3.Kf4 Kf2 4.Kg5 Ke3  
5.Bg3 Kd4 6.Kf4 Be3#.

An excellent problem in which we see multiple rendering of the Klasinc theme.

### 6th Prize

**H1035** Christopher J. A. Jones  
C+ (Great Britain)



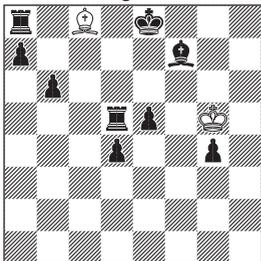
H#3.5 2sols (4+11)

- I. 1...Bc4 2.Bd3 cxd3 3.Se6 d4 4.Sc5  
d5#;  
II. 1...Rb5 2.Sb2+ cxb3 3.Be4 bxc4  
4.Bd5 cxd5#.

Play by white pieces from the white halfpin and the white Pc2 which mates on d5. An interesting idea.

### 7th Prize

Fadil Abdurahmanovic  
**H996C+** Marko Klasinc  
(Bosnia Hercegovina, Slovenia)



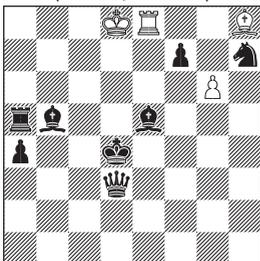
H#5.5 (2+9)

1...Bxg4 2.Ra5 Kf5 3.0-0-0 Ke4+ 4.Kb7  
Kd3 5.Rdd5 Kc4 6.Ka6 Bc8#.

We see the big castling here in combination with Klasinc and Indian theme.

### Special Prize

Alexander Pankratjew  
**H1031** Michael Gershinsky  
C+ (Russia, Ukraine)



H#3 2sols (4+8)

I. 1.Bxh8 g7 2.Bc4 gxh8Q+ 3.Re5  
Qxe5#;

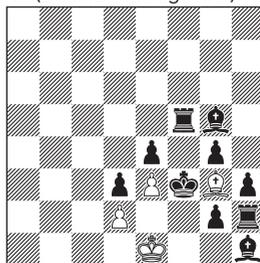
II. 1.Bxe6 gxf7 2.Rc5 fxe8Q+ 3.Rc4  
Qxe5#.

Capture of wB/wR which allows promotion to wQs and mates by the

promoted queen on the same square (e5). A fine position.

### Special Prize

**H1038**Fadil Abdurahmanovic  
C+ (Bosnia Hercegovina)



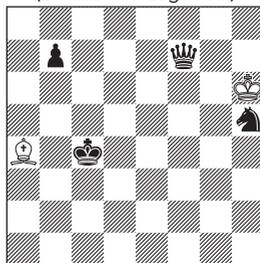
H#4 (4+10)

1.Bxe3 Bf2 2.Bh6 Bh4 3.Kf4 Kf2 4.Bg5  
Bg3#.

A problem with tempo play by both sides in combination with switchback. A good idea.

### Special Prize

**H1062**Fadil Abdurahmanovic  
C+ (Bosnia Hercegovina)



H#7.5 (2+4)

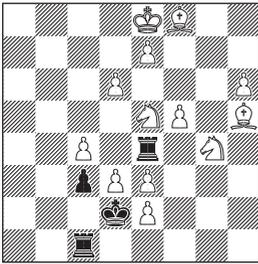
1...Be8 2.Qf2 Kg6 3.Sf6 Kf7 4.Sd7+ Ke6  
5.Kb5 Kd5 6.Ka6 Kc4 7.Qa7 Kb4 8.Sb6  
Bb5#.

An excellent miniature with rich problem motifs.



#### 4th-7th HM

Gennady Chumakov  
**H992** (Russia)  
 C+ Ded. to Masato YOSHII



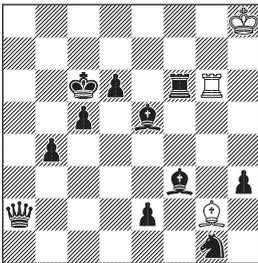
H#3 (13+4)  
 b) wRf8

- a) 1. Rxe5 Bg7 2. Rxe3 Bxc3+ 3. Kd1 Sxe3#;  
 b) 1. Rxc4 Rg8 2. Rxc4 Rg1 3. Rc2 Sxc4#.

A familiar Zilahi in combination with white line opening.

#### 4th-7th HM

**H1016** Christopher J.A. Jones  
 C+ (Great Britain)



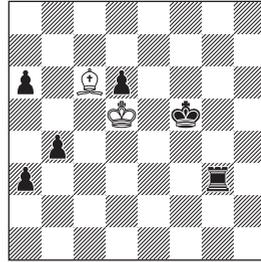
H#3 (3+11)  
 b) bPd6→d5

- a) 1. Qe6 Rg4 2. Kd5 Rxb4 3. Be4 Bxe4#;  
 b) 1. Bc7 Bxh3 2. Kd6 Bc8 3. Re6 Rxe6#.

Fine harmony of the play and Pelle move.

#### 4th-7th HM

**H1040** Fadil Abdurahmanovic  
 C+ (Bosnia Hercegovina)



H#6 (2+6)

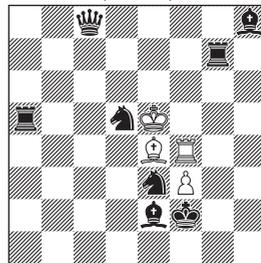
1. a5 Kd4 2. Ke6 Bf3 3. Kd7 Ke4 4. Kc6 Kd3+ 5. Kb5 Kc2 6. Ka4 Bc6#.

In this problem we see the author's favourite Indian theme, combined with other problem motifs and themes.

#### Commendations:

#### 1st Comm

Aleksandr Pankratjev  
**H1054** Aleksey Ivunin  
 C+ (Russia)



H#3 2sols (4+8)

- I. 1. Sf6+ Bd5 2. Rg3 Re4 3. Kd3 Rf4#;  
 II. 1. Rg3+ Rf6 2. Qg4 Bf5 3. Kxf3 Be4#.

Nice black batteries which give checks, and white switchback with double check.

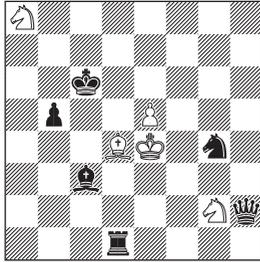
## 2nd Comm

H990

Georg Pongrac

C+

(Austria)



H#3 2sols

(5+6)

I. 1.Bxd4 Se3 2.Bc5 Sc4 3.Rd7 Sa5#;

II.1.Sxe5 Sf4 2.Sd7 Se6 3.Qd6 Sd8#.

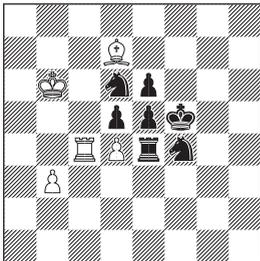
Elimination of white pieces for the purpose of blocking and line opening.

## 3rd Comm

H1055 Alexander Pankratjew

C+

(Russia)



H#3 2sols

(5+7)

I. 1.exd4 Bc6 2.Ke5 Bxd5 3.Kxd5 Rc5#;

II. 1.Rd4 Rc5 2.Ke4 Rxd5 3.Kxd5 Bc5#.

Combination of the Kniest and Zilahi themes.

P.S. The judgment was translated from Macedonian to English by Zoran Gavriloski.

Skopje, 11 October 2019

FIDE International Judge

Nikola Stolev

[From the Editor: Thank you, Nikola, for your quick and illuminating award. Claims should be sent to the editor within usual 3 months.]

## Book Sale

(Continued from p.)

(B) Paradise Books その他

B-1 上田吉一『極光 II』 1500 円

将棋盤使用のフェアリー作品集 100 局。在庫あり。

B-2 『この詰将棋がすごい! 2015 詰将棋新世紀』 2500 円 在庫あり。

B-3 『この詰将棋がすごい! 2019 平成生まれの看寿賞作家たち』 3000 円 在庫あり。

B-4 Yoshikazu Ueda, Aurora: A Collection of 100 Chess Problems 2000 円 在庫あり。英語。

B-5 Satoshi Hashimoto, 64 Proof Games 2000 円 在庫あり。英語+日本語。

B-6 若島正『盤上のパラダイス』 1200 円

三一書房刊(絶版)。詰将棋パラダイスを中心にした読み物。在庫あり。

B-7 WCCC 2012 ブックレット 1000 円 2012 年に神戸で行われた世界大会の記録をまとめた冊子。在庫あり。

B-8 WCCC 2012 記念 T シャツ 2000 円 M/L サイズ。在庫あり。

(C) Problem Paradise バックナンバー

No.8-11 各 1000 円

No.14- 現在まで 各 1000 円

## 第 16 回 International Solving Contest

2020 年度の第 16 回国際ソルビング・コンテストは、1 月 26 日に世界各地で一斉に行われた。参加国数は 31、参加者数はカテゴリー 1 が 202、カテゴリー 2 が 241、カテゴリー 3 が 442 で、計 885 名で、カテゴリー 3 の参加者が飛躍的に増加したことは喜ばしい。

東京での競技会には、カテゴリー 1 に 10 名、カテゴリー 2 に 2 名の参加があった。初参加は、カテゴリー 1 の Tran Thanh Tu さん (Vietnam 出身、東京在住の OTB の強豪)、カテゴリー 2 の長瀧航太さん (高校生) のお二人。

カテゴリー 1 では、久しぶりに山田康平さんが 1 位になった。世界ランクでは 202 人中 50 位。第 2 位は初参加の Tran Thanh Tu さんで、さすがの実力を発揮した。第 3 位は塩見亮さんで、ここまでが 5 割以上の成績。

ここでは、初参加の Tran Thanh Tu さんと長瀧航太に参加レポートを書いていただいた。

なお、問題とその正解、および成績について詳しく知りたい方は、次のページからリンクをたどってください。

<https://www.wfcc.ch/category/isc/>

### Category 1 参加レポート

#### Tran Thanh Tu

2020 年 1 月に開催された ISC に初参加させて頂きました。東京サイトの 2 位を取れましたが、もうちょっと頑張ればもっと点数を得ることが出来ないかと思います。私がチェスを習い始めた際に、タクティクスと共に #2 と #3 プロブレムもよくやっていました。なぜなら、プロブレムを練習しますと、想像力が強くなり、センスを磨き、クリエイティブな選手になれるからです。

昨年も参加したかったのですが都合が悪くて結局参加出来ないことになりました。本年は若島さんの Twitter のお知らせを見る機会があり、参加しようと思いつつお申込み致しました。コンテストの前日、昨年の問題でシミュレーションしてみた結果、40 点ほど得ることが確認出来ました。なんとかなるかなと思いました。実は・・・

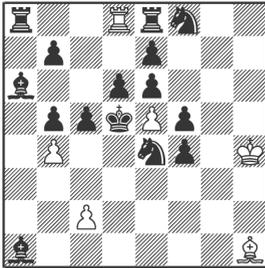
本番は難しい！

まずは Round 1 の問題 No.1 ですが、10 分ほどかかってしまいました。コマが多くてごちゃごちゃにいたので、なかなか解けられなくて、時間が取られました。コンテストの後、若島さんの説明を受けたらやはり自分の考え方が無駄なことを把握しました。No.2 も 10 分ほどかかってしまいました。但し、解答を見つからずスキップしました。ここまでは、汗をかきながら、失敗する恐れが出てきました。なぜなら、#2 と #3 が得意なの



No.7, No.8 ですが、プランが明らかです  
 のでほほほほすぐに見つかりました。但し、  
 No.8 にて1つのバリエーションの記載が欠  
 けて1ポイントを落としました。エンドゲー  
 ムも無事に解けました。この間のポイントと  
 しては mutual zugzwang で、全てが only  
 move になります。ここまでは順調でした。

— № 10 —



H#3 a) diagram 6+15  
 b) ♖c5 → ♖c4

次が H#3 で、自分の弱点ですが、局面を  
 どこかに見たことがあるような気がしますの  
 で、頑張れば解けそうではないかと。Round  
 2 の後、塩見さんとお話したら、当問題に  
 「Original for ISC 2020」と書いてあります  
 ので、多分新作だと言われました。まずは、  
 チェックメイトするコマが何かというと、や  
 はりルックかビショップかプロモーション  
 した e5 のポーンしかないです。b) の方は黒  
 ポーンが既に c4 にいてキングの逃げる道路  
 に邪魔しています。d4 マスをコントロール  
 したり、e5 マスを自分自身に邪魔させたり、  
 ナイトをピンさせたりすればビショップで  
 チェックメイト出来ないかと検討して手順を  
 見つけました。a) の方ですが、b) と同じよ  
 うに考えて、Ne4 がピンされることを利用  
 してルックでチェックメイトしようという方  
 向で検討しました。但し、Kc4 や Kc6 など  
 のクインサイドに逃げるパスが多いので、ど  
 うすればいいか悩んでいました。残念ながら、

c4, bxc4, b5 との手順が見当たらない状態  
 のままギブアップしました。

残りの #4 と S#4 は同時に解けていた感  
 じでした。#4 は 1.Qb8 ならクインの活発  
 を利用したり、h2 のビショップを開放し  
 たりできるから絶対に正しいと思いました。但  
 し、2 手目以降は複雑なので S#4 にスイッ  
 チしたり戻ったりしました。チェスセットを  
 持ってきたが、全問にはコマ数が多くてボー  
 ドにセットするのが面倒し、時間かかるんだ  
 ろうし、結局全てを頭の中にしました。もし、  
 チェスセットを2つ持って来れば、2問  
 をセットして、途中でうまくスイッチで  
 けるから役に立ちましたかもしれません。  
 Round 2 もこれにて終了、合計 33.25/60  
 ポイントを取り、良い経験を獲得しました。  
 初参加ですが、意志を高く持って来た私とし  
 てはまだまだ目標より低かったです。H と S  
 はメチャクチャ弱いので、機会があればもう  
 ちょっと練習して来年も参加させて頂きたい  
 と考えております。

## Category 2 参加レポート

### 長瀧航太

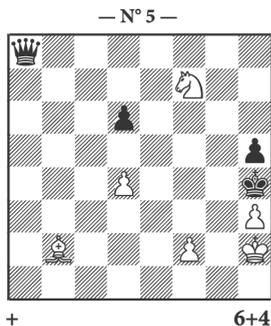
2020年1月に開催されたISCに参加させていただいた長瀧と申します。

普段はOTBでチェスをしており、このようなProblemの世界とは無縁でした。そんな中、たまたまTwitterでISC開催についての投稿を拝見し、突如参加申込みを致しました。

OTB境界の人がたくさんいるだろうと想像しながら会場へと向かいましたが、OTBでよく見かける方はTuさん、塩見さん、中嶋さんの3人で、Problemだけをやっている人が多いことに驚きました。では、問題の方に触れていこうと思います。

今回は初参加だったので、とりあえずCategory2に参加しました。

まずは前半戦ですが、最初の5問は順調に進み1時間程度で解き終わりました。しかしNo.5のエンドゲームに見落としがありました。



チェスのタクティクスでも見るような問題で、1.d5 Qa1 2.Ng5 Qd1までは簡単に導きました。ここで3.Bf6がメイト受けなし

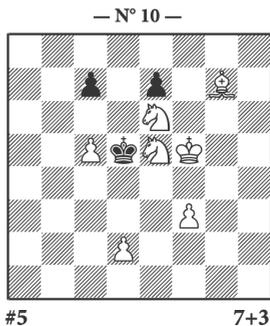
だと思い、そう解答してしまいました、、、3...Qh1+で見事にスタイルメイトになってしまいます。3.Ne4 Qd4 4.Bc3でクイーントラップという手順は答えを見るまで思いもよらせませんでした。

続くNo.6ですが、終了直前までポーンの進行方向を逆向きで考えるという失態を犯してしまい、1時間かけても当然答えを見つけることはできませんでした。

前半戦を22.0/30で終えます。

前半戦が終わったところで、塩見さんに昼食を誘っていただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。また、ご一緒した中村さんが通っている高校のOBであることを知り、お話しさせていただきました。

昼食を終え、後半戦に入ります。最初の3問はつまづきながらも答えを導きだせましたが、ラスト3問は苦戦します。No.12のセルフメイトはなんとか解け、No.11のエンドゲームはさっぱり分からないので、残った40分をNo.10に費やします。



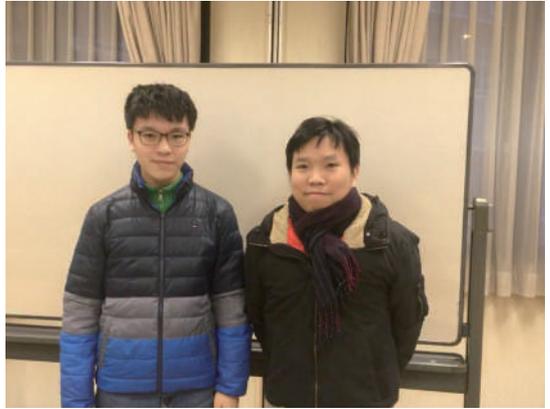
黒が手詰まりになるタイプの問題ですが、メイトの形がまったく見えません。黒が手詰まりになったとき、自ら駒を捨て、ポーンに取らせる形を作るという発想ができたので、1.d3 c6 2.Bf6 exf6の手順を考えます。しかし、e5のナイトまで捨てたらメイトできないと考え、挫折。結局答えにたどり着けな

いまま終了しました。正解は1.Bh8 c6 2.Bf6 exf6 3.d3 fxe5 4.Kf6 です。最終局面で黒に出来ることは4...e4 しかなく、5.fxe5# でメイトです。このe5-e4の構想があれば正解できたかもしれません。

後半戦は20.0/30、全体では42.0/60で良い結果を残せたかと思います。

Problemと向き合う1日を終え、Problemの面白さに気づくことができました。しかし、学生の参加者は自分1人だけ。来年は同校生を誘って、学生の参加者を増やせればと思います。

今回はこの大会に参加させていただき、ありがとうございました。そして、今後ともよろしく願い致します。成人したら大会後の食事に参加したいと思っております。



(右が Tran Thanh Tu さん、左が長瀧航太さん)

Cat.	氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	時間	順位
1	山田康平	5	4	1	3.5	5	5	5	5	2	5	1.25	-	41.75	236	1
1	Tran Thanh Tu	5	5	3	-	0	0	5	4	5	2.5	3.75	0	33.25	240	2
1	塩見亮	5	0	0	5	5	-	5	3	5	-	2.5	-	30.5	240	3
1	中村龍二	5	5	3	-	0	1	5	-	5	-	-	-	24	240	4
1	筒井浩美	5	-	-	2	-	0	5	2.5	-	2.5	-	-	17	240	5
1	小林敏樹	5	-	0	2	-	0	5	-	-	2.5	-	0	14.5	240	6
1	星野健司	5	-	-	3.5	-	-	0	-	-	5	-	-	13.5	240	7
1	黒川智記	-	-	-	-	-	-	5	4	2	-	2.5	-	13.5	240	7
1	松崎直樹	5	3	-	-	-	-	5	0	-	-	-	-	13	240	9
1	鈴木知道	5	-	0	5	-	1	0	-	2	-	0	-	13	240	9
2	長瀧航太	5	5	5	5	2	0	5	5	5	0	0	5	42	240	1
2	中嶋正和	0	5	2.5	0	0	5	0	5	0	0	-	0	17.5	240	2

## ピアノフィリアの夢…カブースチン他

濱川 礼

最近は軽く読む程度ですっかりご無沙汰の「Problem Paradise」、時には入金も忘れてしまいご迷惑をかけていて、ひよっとするとブラックリストな私。そんな私に若島さんから「私のお気に入り」というコーナーで何か書いてくれとの依頼がありそれだけでもびっくりであるが、更に「カブースチン」という名前が出てきて(びっくり)<sup>2</sup>である。

さて、どう書き始めようか…

何事も病的に？好きになり愛してしまい、ある程度極めないと落ち着かない。周りからみたら、何をそんなに？と思われようがお構いなし。いったんその世界に踏み入れると逃れられない。そしてその世界でしか通じない言語で語りだしたりする人たち…皆さんならおそらく思い当たる節があるはずだ。ややオーバーに表現すれば、いわゆるフィリア(-philia)である。そこで、私自身の中にあるいくつかのフィリアの中からピアノ音楽について語ることにする。要するにピアノフィリア(pianophilia)である。

幼稚園で将棋を覚え、中学生時代に「詰将棋パラダイス」で詰将棋の魅力に取りつかれ、そして少しではあるがチェスプロブレムの世界にも踏み入れた。それとほぼ平行にやはり幼稚園の頃からピアノを習い始め、それから紆余曲折はあり一時は音大も少し考えたが、結局一般の大学へ進学した。その頃からピアノフィリアな世界に取り憑かれ始める。発端はそもそもこういう好きなことは知りたい自分のせい、下手ながらも世の中の有名なピアノ曲はほぼ弾いてしまったことである。勿論プロ志向ならそこから更に極めることこそがもっとも重要なことであろうが、こちらは

アマチュア、そういったことはプロに任せておけば良い。

では、具体的にはピアノ音楽の何に熱中するのか？私の場合は知られざる曲から傑作や自分好みの曲を掘り当てることが第一である。そして出来れば世に広めたい。好みの曲は人それぞれであろうが、私の場合は一言でいえば「濃い音楽」である。少し砕いて言えば、メロディは美しいが和声は複雑、その上、音符密度が濃くて、臨時記号が多い曲である。その代表はゴドフスキー(Leopold Godowsky)である。彼の音楽については本稿の趣旨から外れるのでここでは述べない(ちなみに今年にはベートーヴェン(Ludwig van Beethoven)生誕250年で音楽界は盛り上がっているが、実はゴドフスキーの生誕150年でもある)。

そしてそのような曲を発掘するために知らない曲がCDのカタログにあれば片っ端から購入して聴くし、知らない楽譜があれば購入する。CDショップ店を回り歩き、インターネットでカタログを探し、音源を探す。楽譜に関しては以前はインターネット上にIMSLP(International Music Score Library Project)のようなサイトは存在しなかった。Maryland(メリーランド)大のIPAM(the International Piano Archives at the University of Maryland)に大量の楽譜のコピーを頼んだことも何回もある。New Yorkに出張の際に会議前に楽譜出版社のCarl Fischerに立ち寄り、購入希望楽譜リストを見せたら「こんな大量にしかもほとんどは店頭になく倉庫にあるのばかりだからすぐには取り揃えられない」と言われ会議後に取りに

いったこともある。

では、それで本当に面白い曲を発掘できるか？勿論そんなに甘くない。世の中に知られていない曲の99%は知られていないだけの理由があると経験上感じている。良ければ大抵誰かが見出して既に世に出回っている。だから正直な話、聴いてはがっかりという駄作がほとんどなのだ。世に残る作曲家はやはり素晴らしい。残る意味がある。伊藤看寿の作品がどれも素晴らしく、今眺めても新鮮なと同様、ショパン (Frédéric Chopin) の作品も宝の山であり、天才にしか思いつかない斬新な和声は今でも堪能できる。

したがって、極端に言えば、聴いてはポイ、楽譜を見てはポイである。がっかりの連続…「何故そんな時間も金も無駄なことを」って？それはやはり1%でも宝を発掘することもあるからである。そして、そのほんの僅かの確率で見つけたときの『1%の快感』が忘れられないのだ。だからやめられない。では、そのわずか1%に該当する作曲家の話をまずはしよう。

時代はそろそろ21世紀と言うときに、ピアノフィリアに満ちた仲間たちで話題になった作曲家がいた…カプースチン (Nikolai Kapustin)…彼が話題になったのは、ロシアのピアニスト、ペトロフ (Nikolai Petrov) がカプースチンの曲を2曲、(異なる)CDに収録しているからである。ペトロフは同CDに有名な曲も収録しているが、それは我々にはどうでもよい。とにかく知らない名前のカプースチンである。「ピアノ・ソナタ第2番」、「8つの演奏会練習曲7番」とクレジットされている。これが実に良い。まず一聴してジャズの雰囲気でお洒落ある。そして超絶技巧を駆使したロシアピアニズムも感じる。クラシックでも通用するし、ジャズのライブで演奏しても受けるであろう。「カッコいい!」、そして「濃い!」。すると他に曲は無いのか？楽譜は出版されていないのか？そもそもカ

プースチンとは誰か?という話になる。ピアノ・ソナタ第2番なら第1番があるはず、8つの練習会練習曲なら残り7曲はあるはず、もっと聴きたい、もっと弾きたいと。しかし当時はカプースチンの情報がまったく日本には無かった。カプースチンは実在しているのかという話にまでなってしまう(誰か有名な作曲家、ピアニストがペンネームでと言う可能性はある)。そこで私は世界中の音楽系出版社にメールした…「カプースチンという作曲家とコンタクトを取りたい、何か情報を知っていたら教えてくれないか?」…するとたった一社「君の言っているカプースチンはこの人のこと?」となんとカプースチンという人の住所を教えてくれたのである。

そこで、私は一世一代の手紙をモスクワに書いた…自分がいかにあなたの音楽に惚れて色々調べているが、更にもっと聴きたい、楽譜も探していると。しかし「この」カプースチンが「あの」カプースチンとは限らない、そもそも英語がわかるのか?それ以前に日本からの知らない者にいちいち返事なんてするのか…色々な思いがあったが数週間後に本人から丁寧な自筆の返事があったのだ。そのときの興奮は忘れられない。ピアノ・ソナタ第1番はあった!練習曲の残りの曲もあった!正確な情報をカプースチン本人から聞くことができた。彼がVOA (Voice of America) でジャズにのめり込んだことも分かったし、当時はロシアでも彼の名前はほとんど知られていないことも分かった。結局そのことがきっかけで幻のカプースチンは我々の前にその実像を表したのだ。その後、彼は大量の楽譜、自筆譜のコピーを私に送ってきてくれた。そしてそのおびただしい量の楽譜をピアノフィリアの仲間へ紹介。そして仲間や自分で演奏し広めていった。当時は彼の曲はCDでは前述のペトロフの演奏しか流通していなかったが(それでもかなりマニアックであった)、カプースチン自身の演奏がLPにあることが

分かり、ロシアからLPを輸入して色々な人に紹介もした。ジャズピアニストの佐藤允彦氏に紹介して彼がコンサートで取り上げたこともあった。今は亡き、ジャズサクソフォンの巨匠マイケル・ブレッカー (Michael Brecker) に紹介したこともあった。「これはすごい！ハービー (・ハンコック (Herbie Hancock) : ジャズピアニスト) に聴かせなくちゃ！」と Blue Note Tokyo の楽屋で興奮して言ってくれたけど、ハービーは聴いたのだろうか。今や、スーパーヴィルトゥオーゾで名高いピアニスト、アムラン (Marc-André Hamelin) と渋谷の台湾料理屋でピアノフィリアな仲間たちとカプースチン話で盛り上がったことも懐かしい。おそらく世界一のピアノフィリアな彼も我々 (日本の) ピアノフィリアな仲間達と時を同じくしてカプースチンに興味を持ち、色々と情報を入手していたのである。一方、知り合いの音楽関係者がモスクワに行く機会があると聞き、彼女に楽譜代金を託してカプースチン本人に会ってもらうことにした。そこで二人が意気投合して上記のカプースチン自身の演奏を収めたLP (のマスターテープ) から日本で CD が発売されるようになる。やがてカプースチンの音楽が川上昌裕氏 (東京音楽大学准教授) の耳に入り、川上氏がカプースチン本人と連絡を密接にとりモスクワの彼の家にも何回も足を運び、日本から正式な楽譜出版、録音して CD 販売、自身のリサイタルで演奏等の啓発活動を続け、カプースチンの音楽は日本、そして世界に急速に広まることになる。この辺りは川上氏の「カプースチン ピアノ音楽の新たな扉を開く」(ヤマハミュージックメディア) に詳しく書かれているのでご興味のある方はぜひご一読を。

今では日本のクラシック音楽界、教師でも学生でも誰でも知っているカプースチン、日本を問わず国際ピアノコンクールでも演奏されているカプースチン、ユジャ・ワン (Yuja

Wang) を始めトップクラスのコンサートピアニストがプログラムに載せるカプースチン…私が最初にアマチュアのピアノコンクールでカプースチンの「変奏曲 (Op.41)」を演奏したときには審査員の一人に講評で「この曲は知りません。完全にジャズです。私には評価できません。」と書かれ苦笑したのも今では良き思い出である。

今回、若島さんから依頼があったので、川上氏にカプースチン自身とチェスとの関わりについて色々と尋ねたが、カプースチンがチェスやゲームに興味を持っていたかどうかというのは、残念ながら川上氏との会話ではその手の話題が出たことはなかったとのことであった。ただ、カプースチンが「数学」と「言語学」に強い興味を持っているのは有名な話なので (カプースチンには Yana Tyulkova による "Conversations with Nikolai Kapustin (Schott)" という本があり、ここでは「He likes to talk about music, linguistics, and physics.」とも述べられている)、チェスを単なるゲームではなく教養でありスポーツであり、数学とも関係があり宇宙にも繋がっているというような深いものという認識をしている可能性はあるとまで語ってくれた。実際、作曲家で言えば例えばカプースチンが敬愛するプロコフィエフ (Sergei Prokofiev) のチェス好きは有名である。彼はカパブランカ (José Raúl Capablanca) と対局している (エキジビションとは言え勝っている)。

作曲家のラヴェル (Maurice Ravel) との対局も記録に残っている (<https://www.chessgames.com/perl/chessgame?gid=1579921>)。

カプースチンの音楽は私が広めなくてもいずれ世に出ていたと思う。なんといっても素晴らしい作品ばかりだから。皆に親しまれるようになったのは嬉しい限りである。ちょっと聴いてみようと思った方は今では検索すれ

ば幾らでも見つかるのでぜひ聴いてみて欲しい。カプースチンは1937年生まれ、現在のところ公式にはThe Moon Rainbow (2016)が最近作である。既に高齢であり作曲の筆はあまり進まないのであろうが、いつまでも健康であって欲しい。

ところでピアノフィリアの世界に話を戻そう。私自身はその後、なんとピアノ練習のし過ぎでフォーカル・ジストニアという病気になり右手でピアノを演奏することが出来なくなったしまった。どんな病気でどんな症状なのかは省略するが、日常生活にはほぼ支障ないのでご安心あれ。プロであれば人生変わってしまう一大事であり、アマチュアでも治療やらに専念する方もおられるが、私はそこは気楽に構えることにした。そして、それならばと左手の曲の知られざる曲を発掘しては演奏して広めるようになった。それまでも左手の曲を弾くことはあったが、当然ながらどうしても関心は両手の曲に向いてしまっていた。ピアノフィリアは左手の曲発掘の方向に傾くことになる。左手の曲と言えば、ピアノソロで代表的なのはバッハ=ブラームス (Johann Sebastian Bach=Johannes Brahms) の「シャコンヌ」やスクリャービン (Alexandre Scriabin) の「2つの左手のための小品 Op.9」位で、そんなに曲があるの？と思われるかもしれないが、例えばパターソン (Donald L. Patterson) の "One Handed: A Guide to Piano Music for One Hand (Greenwood)" には700曲以上がリストアップされている。これだけでもかなり膨大であるが、そもそもリストに載っているのは知られざる曲とは既に言えなくなっているかもしれない。もっとあるはずである。とにかく1%の快感を目指して探しまくるのである。アマチュアながら日本初演もかなり行った。フランスのピアニストやチェコのピアニストに左手の自作曲があることを知り本人たちから楽譜を譲ってもらいコンサートや

コンクールで演奏したこともある。そして探せば勿論まだまだあるが、やがて一段落つてきた。では次にどうするか？

曲が無ければ、新しく自分で作曲すれば良いのだ。昔から創作ということには大変、興味があった。曲、詰将棋、小説等。パラパラとはどれも創るのではあるが、根気がないというか…才能がないと言ってしまえばそれまでだが、完成した形に出来ない(ちなみに詰将棋も新ネタ構想があるのだが中々図式化出来ない)。そこで、自らに条件、そして夢を課した。それはアマチュアの(大きな)ピアノコンクール全国大会で入賞したら、入賞者記念コンサートで自分へのご褒美として自作を演奏しようということである。これはかなりハードルが高い。アマチュアとは言え、コンクールでの全国大会入賞はそう甘くはない。かつ、ジストニアのために左手の曲でしか審査を受けられない。だから、実現したら本格的に取り組もうと決心していたとは言え願望であり欲望であり、また妄想でもあった。ところが、幸いにも2015年ピティナ・ピアノコンペティショングランミューズ部門全国決勝大会 B2 カテゴリーで第2位を取ることが出来た。そして、入賞後に慌てて作曲して、半年後の入賞者記念コンサートで演奏したのが「左手のための(横濱ノスタルジア)」である。横濱は生まれ育った土地ではないが、長年住んでいたこともあり愛着のある街である。横濱の持つ異国情緒や伝統・近代化をうまく表現出来ればと思い、みなとみらいから中華街、元町、山手辺りではあるが、年末・年始に何回も巡りイメージを高めた。横濱の一つの特徴として考えたのが「赤い靴」(作曲: 本居長世、作詞: 野口雨情)である。山下公園内にある「赤い靴はいてた女の子像」に話しかけながら大晦日から新年を迎えた一瞬は今でも目に焼き付いている。更に翌年、無謀にもこの自作でコンクールに臨んだのが、望外にも2016年ピティナ・ピアノコ

ンペティショングランミュージック部門全国決勝大会 B1 カテゴリーで第 2 位を取ることが出来た。そしてまたしても「(左手のための)バトス島の夜」という作品を書いて入賞者コンサートで演奏した。この辺りはお興味があれば <http://www.piano.or.jp/concert/yp/grandmuse/interview-b1-2.html> を参照して頂ければ幸いです。

なお「横濱ノスタルジア」はイギリスの音楽制作会社 RMN Classical の“Piano Recordings Competition (2018)”で winner (中の一曲) に選ばれ、同社発行の“Modern Music for Piano”に収められており、Spotify・iTunes・Google play・amazon music で聴くことが出来る(演奏は植松洋史氏)。 <https://rmnmusic.com/modern-music-for-piano/>

Yokohama Nostalgia (for the Left Hand Alone)  
Rei Hamakawa

Copyright © 2018 Rei Hamakawa

そう考えると、先ほど「プロであれば人生変わってしまうが」と述べたが、私の人生も変わってしまったかもしれない。ジストニアにならなければ「横濱ノスタルジア」は生まれなかったのであるから。

さてピアノフィリアの夢は更に続く。過去の曲、自作曲の先にあるのものは何か？それは

作曲家に自分のために曲を創作してもらうことである。そこでカプースチン同様ロシアでジャズを積極的に取り入れた曲を数多く創作しているローゼンブラット (Alexander Rosenblatt) に委嘱したところ快く引き受けてくれた(本稿ではカプースチンの話を中心にしたが、実は日本でローゼンブラットの音楽を広めた(一人)も私である)。まだ(2020年3月現在)未公開なので詳細な情報は控えるが、私に献呈された曲は既に完成している。今年中に正規に出版される予定であり広まればと思い楽しみにしている。こうしてピアノフィリアの夢は続く。さて次は何をしようか…

ところで、今回、若島さんから依頼があったので、川上氏と色々やりとりしてその情報は上に述べたが、分かったのは川上氏自身が将棋やチェスが好きで、実は自作の詰将棋もかなり数多く作った記憶があるということである！川上氏とは音楽の話しかしたことが無かったので初耳で驚いてしまった。小中学生の時は「棋士」になるか「ピアニスト」になるか本気で悩んでいたこともあるくらいだそうである。ならば、機会があれば、こちらの「フィリア」の世界にご招待しようかと思っている。

さて、思うがままに書き連ねてしまったが、私のお気に入り、ピアノフィリアな世界を少しでも感じ取って頂ければと思いつつ、そろそろ筆(キーボード?)を置くことにする。

最後に本シリーズ次回は斎藤夏雄さんということで、実は彼は大学のピアノサークルの後輩である。彼本人がどう思っているかは分からないが、彼もピアノフィリアに溢れていると私は断言する。ピアノ仲間の集まりの中、二人で詰将棋やチェスプロブレムの話をしてきたこともあった。今でいうシュールな世界である。彼の話がピアノなのか、あるいはまた別のお気に入りのフィリアの世界なのか、どんな話が出るのか楽しみである。

## Definitions

### <一般的通則>

# : 最終目的がメイトであることを表示する。

= : 最終目的がスタイルメイトであることを表示する。

== : 最終目的が双方スタイルメイトであることを表示する。

v : 紛れ (try) を表す。個数は、テーマとなる紛れの数を表す。

\* : Set Play を表す。オーソドックスやセルフメイトの場合は黒から指し始め、ヘルプメイトの場合は白から指し始める。作意手数から 0.5 手を引いた手数になる。

sols : solutions すなわち「解」のこと。指定された数だけ解があり、これは余詰ではなく、作意設定のうちに入っている。

b) c) ... : 問題図を a) とし、指定のように配置を変えた図を b) c) ... として、いずれも a) と同じ条件で解くこと。

◆盤上にフェアリー駒がある場合、P はそのフェアリー駒にも成れる。

◆キャスリング可能な位置にある K と R は、それが不可能であるという証明ができないかぎりキャスリング可能とみなされる。逆にアンパッサン可能な位置にある P は、直前の手が取られる P が動いたものと証明ができない限りアンパッサン不可能とする。

### <問題設定>

**Direct** (記号無し) : #n では、白から指し始め、n 手で黒をメイトにする手順を求める。黒はそれに抵抗する。

**Help (H)** : H#n では、黒が白に協力し、n 手で黒をメイトにするような手順を求める。通常黒から指し始める。白から指し始める場合は、0.5 手分を引いた形で表記する。

**Helpself (HS)** : HS#n では、ヘルプで (n-1) 手指して、そこから S#1 になるような手順を求める。通常白から指し始める。

**Proca-Retractor -n&#1** : 白から戻し始めて、n 手以内で、白が黒を 1 手でメイトにできるような局面を作るのが目的。黒は抵抗する。なお、黒にも白と同様、逆算してから 1 手詰にする権利がある。これを Forward Defense という。

**Proof Game (PG)** : 実戦初形から始めて、指定された手数で問題図に至るような手順を求める。

**Self (S)** : S#n では、白から指し始め、白が自分を n 手でメイトにさせるよう黒に強制する手順を求める。

**Series-help (SH)** : 黒が連続して指定された手数を指し、それから白が 1 手でメイトなどの目的を達成できるような手順を求める。黒は最終手を除いて、白にチェックをかけてはならない。

**Series-helpself (SHS)** : 黒が連続して指定された手数を指し、それから白が HS#1 などの目的を達成できるような手順を求める。黒は最終手を除いて、白にチェックをかけてはならない。

**Series-self (SS)** : 白が連続して指定された手数を指し、それから黒が 1 手で白をメイト (あるいはスタイルメイト) にするよう強制される手順を求める。白は最終手を除いて、黒にチェックをかけてはならない。

### <フェアリールール>

**Anda** : K を除く neutral ではない駒は、直接にチェックをかけたとき、neutral 駒になる。K を除く Neutral 駒は、直接にチェックをかけたとき、そのチェックをかけた側の色の駒になる。

**Andernach** : K 以外の駒は、駒を取ると色が変わって相手の駒になる。新しく発生した R はキャスリング可能。

**AntiCirce** : 駒を取るとき、取る駒 (K を含む) は初形位置に戻り、取られた駒は盤上から消える。取る駒の初形位置が何らかの駒(取

る駒も含む)によって占領されているときは、駒が取れない。細則は Circe に準じる。

**AntiCirce Calvet** : 取る駒がその初形位置に着地するような取りも許す Anticirce。

**AntiCirce Cheylan** : 取る駒がその原形位置に着地するような取りは禁手とした Anticirce。

**AntipodeanCirce** : 取られた駒は取られた位置から ( $\pm 4$ ,  $\pm 4$ ) の地点に復活する。8 段目に発生した P は任意の駒に成れ、その選択は取りを行った側が決められる。1 段目に発生した P は動けない。

**Bicolores** : K に自分の色の駒でヒモを付けたとき、それもチェックと見なすルール。従って、自分の K をそのような状態にする指し手は selfcheck の禁手となる。

**Billiards** : Bishop, Rook, Queen, Nightrider をそれぞれ Reflecting Bishop etc. で置き換えたもの。

**Black Must Check** : 黒はチェック以外の手を指せない。チェックする手がない場合はパスで、白は続けて指せる。

**Black plays only to double check** : 黒の着手は double check に限る。そのような手がない場合、白は連続して指せる。

**Breton** : 駒を取ったとき、取られた駒と同種の駒が (もしある場合) 1 つ、取った側から消える。

**Circe** : K 以外の取られた駒は初形位置に再生する。R および S の初形位置は取られた場所の色によって決まる。P の初形位置は取られた筋の 2 段目。フェアリー駒の初形位置は取られた筋の 8 段目。取られた駒の初形位置が何らかの駒によって占領されているときはその駒は通常通り盤上から消える。初形位置に戻った R はキャスリング可能。初形位置に戻った P は 2 歩進むことが可能。

**Circe Parrain** : 地点 a で駒が取られたとき、取られた駒はその直後の指し手 (移動ベクトルを  $v$  とする) によって、地点  $a+v$  に再生

する。再生場所が盤の外だったり、そこが別の駒によって占領されている場合は、再生しない。直後の指し手がキャスリングの場合、その移動ベクトルは K と R それぞれの移動ベクトルを足す (つまり 0-0 は 0 ベクトル)。1 段目に再生した P は 1 マスしか前に進めない。8 段目に P が再生すると、その瞬間に成る。細則は Circe に準じる。

**Disparate** : 相手が直前に動かした駒と同種の駒を、直後の自分の手番では動かしてはいけない。

**Duelist** : Duellantenschach、または Single Combat ともいう。1 手前に動かした駒を、次の手番でも動かさねばならない。それが不可能なら動かす駒を自由に選べる。

**EquipollentsCirce** : 取られた駒は、取られた位置から取った駒の取りの動きのベクトルだけずれた地点に復活する。最上段に復活した P は成り駒として復活する。

**Immun Chess** : 駒取りは、取られた駒の Circe ルールによる再生場所が空いているときのみ可能。

**Köko** : 着手は、そのまわりの 8 マスに何か駒が存在するような地点にのみ有効。チェックにもこのルールは適用される。

**Lortap** : Patrol の反対。紐のついている駒は、駒を取ることができない。

**Madrasi** : 同種の駒によって取りをかけられている場合、その駒は動けない。

**Masand** : チェック (開き王手を除く) をかけたとき、その駒の利きにある敵味方の駒は、K を除いてすべて色が変わる。

**Platzwechselcirce (PWC)** : 駒を取るとき、取られた駒は取る駒のいた位置に再生する。8 段目に発生した P は任意の駒に成れ、その選択は取りを行った側が決められる。1 段目に発生した P は動けない。

**Point Reflection** : 盤の中央を中心にして点対称の関係にあるマス目の駒どうしは、色に関わらず、それぞれの性能が入れ替わる。

1 段目にいる P はそれじたいでは動けない。1 段目の P と対称の位置にある駒も動けない。キャスリングとアンバサンは、通常の KR および P のみが行える。

**Take&Make** : 駒を取ったとき、その駒は同時にそこから移動する手を指さなければならぬ。その移動する手は、取られた駒の動き（取られた側から見た動き）になる。P は 1 段目に移動できない。

**Tibet Chess** : 黒が白の駒を取ると白の駒になる。

**Transmuted Kings** : チェックをかけられた K は、その瞬間にチェックをかけた駒の働きをするというルール。特に断らない限り、このルールは双方の K に適用される。

**Vogtländer Chess** : K にチェックがかかっているとは、「敵の K に取りがかかっているとき」と定義したルール。

#### <フェアリー盤>

**Grid Chess** : 盤面を 16 に分割したグリッド盤を使用し、指し手は、必ずどこかの境界線を越えなければならない。すなわち、同じ区域内での移動は禁手。チェックについても同様のルールが適用される。

#### <フェアリー駒>

**Chameleon** : 動くたびに  $S \rightarrow B \rightarrow R \rightarrow Q \rightarrow S$  の順で種類が変わる駒。

**Contra Grasshopper** : Grasshopper のように 1 枚駒を飛び越した後、そのまま向きを変えずに、R または B のように動く駒。

**Double Grasshopper** : 一度着地した地点からもう一度跳ぶ Grasshopper。最初の着地地点では駒は取れない。局面を変化させない跳ね方はできない。

**Dragon** : S+P。

**Equihopper** : 任意の方向に駒を 1 枚飛び越して、その線上で等距離の地点に着地する駒。線上に余計な駒が挟まっている場合、跳

べないとした駒を単に Equihopper と呼び、跳べるとした駒を Non-Stop Equihopper という。

**Grasshopper** : Q の筋で、ある駒を 1 つ飛び越したその直後の地点に着地する駒。そこに相手の駒があれば取れる。

**Invisible** : 盤上に存在するが、見えない駒。駒種と位置の両方が確定した瞬間に、その透明駒は透明性を失い普通駒となる。駒取りやメイトは、証明なしには主張できない。メイトとは、解答手順を成り立たせるようななどのような Invisible の代入に対しても、最終局面が通常のメイトになっていることを指す。

**Leaper** : S の様な動きの駒の総称。(x,y)-Leaper は駒の居る位置から縦横に (x,y) または (y,x) だけ離れた地点に着地する。間に駒があっても飛越えられる。例えば S は (1,2)-Leaper。

**Locust** : Q の筋で、相手の駒を 1 枚飛び越して、その直後の地点に着地する駒。着地点は空いている必要があり、かつ飛び越された駒は取られて消える（取りなしで動くことはできない）。

**Moose** : Q の筋で、駒を 1 枚飛び越してから、進行方向と 45 度を成す地点に着地する駒。そこに相手の駒があれば取れる。

**Neutral** : 白および黒のどちらからも動かせる駒。取ったり取られたりすることもできる。n の記号で表し、nQ という風に表記する。nP は成ると Neutral 駒に成る。ただし、普通の P が Neutral 駒に成ることはできない。フェアリー駒が盤上に現れている場合は、nP はその Neutral フェアリー駒に成れる。

**Nightrider** : (1,2)-Rider。

**Pao** : Chinese piece の一つ。R のように動くが、駒を取るときはその線上で駒を一つ飛び越してその先（直後でなくてもいい）にある駒を取る。

**Quintessence** : 跳ぶたびにジグザグで 90 度向きを変える Nightrider。たとえば a1 に

いる Quintessence は a1-b3-d2-e4-g3-h5 というジグザグ線上を跳ぶ。

**Reflecting Bishop** : 盤の端に達すると、そこから反射して戻ってくる B。

**Rider** : R や B など一定の方向にどこまでも進めるが駒にぶつかるとその先には進めない駒の総称。(x,y)-Rider は進める方向が (x,y)-Leaper の延長となる。例えば R は (0,1)-Rider。

**Royal** : K の代わりをする駒。チェックやメイトの概念を、K ではなく Royal 駒に適用する。

**Total Invisible** : 駒種と位置のみならず、色もわからない透明駒。細則は Invisible の項に従う。

## JCPS 世界大会若手派遣プログラム 選考結果

今年度の世界大会若手派遣プログラムには 2 名の応募があり、審査の結果、藤原雅俊さんと太刀岡甫さんのお二人を採用することに決定いたしました。

お二人には、世界大会参加時点で、補助金 10 万円ずつを支給いたします。

JCPS 会長 橋本哲  
事務局 若島正

## 第 87 号解答成績

	D	E	H	S	F	R	U	計
Max	35	10	100	15	180	40	20	400
内田 昭	15		77.5		41		15	148.5
及川弘典			15				20	35
小畑 勉	15		37.5				2.5	55
九尾	30		25				10	65
小林看空			100		55			155
駒井信久			100				20	120
則内誠一郎	25	3	100	10	122	20	15	295
中嶋正和	20	5	15	5	15			60
原岡 望	10		5				10	25
星野健司	30		100	10			15	155
水野勝久	10		30		33		5	78
宮嶋亮一	24							24

第 87 号の解答者は少し減って 12 名。

成績は、1 位が則内誠一郎さんで、295 点（74%）の好成績はおみごとでした。

2 位は星野健司さんと小林看空さんの 155 点（39%）で、以下内田昭さん（148.5 点）、駒井信久さん（120 点）と、ここまでが 100 点越えでした

なお、前号に掲載した第 86 号解答成績で、U コースの駒井信久さんの点数を 15 点から 25 点に訂正します。それに伴って、合計も 140 点から 150 点に訂正いたします。どうもすみませんでした。